

令和3年度第5回 インターネット都政モニターアンケート

「東京と都政に対する関心」

調査結果



調査実施の概要

- 1 アンケートテーマ**
東京と都政に対する関心
- 2 アンケート目的**
「東京都居住意向」「都政の満足感」「東京都が取り組むべき分野」などについて毎年調査し、東京と都政に対する関心や意識の変化を経年的に探り、今後の都政運営の参考とする。
- 3 アンケート期間**
令和3年12月8日（水曜日）から12月14日（火曜日）まで
- 4 アンケート方法**
インターネットを通じて、モニターがアンケート専用ホームページから回答を入力する。
- 5 インターネット都政モニター数**
500人
- 6 回答者数**
487人
- 7 回答率**
97.4%

東京と都政に対する関心

1 調査項目

- Q 1 東京都居住年数
- Q 2 東京都居住意向
- Q 3 東京は魅力的な都市か
- Q 4 東京の良いところ（長所）
- Q 5 東京の良くないところ（短所）
- Q 6 東京への愛着
- Q 7 東京への誇り
- Q 8 東京をより良くするために関わりたいか
- Q 9 東京をより良くするための関わり方（現状）
- Q 10 東京をより良くするための関わり方（希望）
- Q 11 関心を抱いた都政の出来事
- Q 12 都政の親近感
- Q 13 都政の満足感
- Q 14 満足の理由
- Q 15 不満の理由
- Q 16 東京都が取り組むべき分野

		モニター 人数	回 答		
			人数	構成比	率
全 体		500	487	-	97.4
性 別	男性	250	242	49.7	96.8
	女性	250	245	50.3	98.0
年 代 別	18・19歳	10	10	2.1	100.0
	20代	61	57	11.7	93.4
	30代	86	84	17.2	97.7
	40代	94	92	18.9	97.9
	50代	83	78	16.0	94.0
	60代	59	59	12.1	100.0
	70歳以上	107	107	22.0	100.0
職 業 別	自営業	42	42	8.6	100.0
	常勤	200	191	39.2	95.5
	パート・アルバイト	66	66	13.6	100.0
	主婦・主夫	86	85	17.5	98.8
	学生	28	27	5.5	96.4
	無職	78	76	15.6	97.4
居住地域別	東京都区部	344	335	68.8	97.4
	東京都市町村部	156	152	31.2	97.4

※ 集計結果は百分率（%）で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならないものがある。

※ n (number of cases) は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。

※ 複数回答方法・・・(MA) = いくつでも選択、(3MA) = 3つまで選択、(2MA) = 2つまで選択

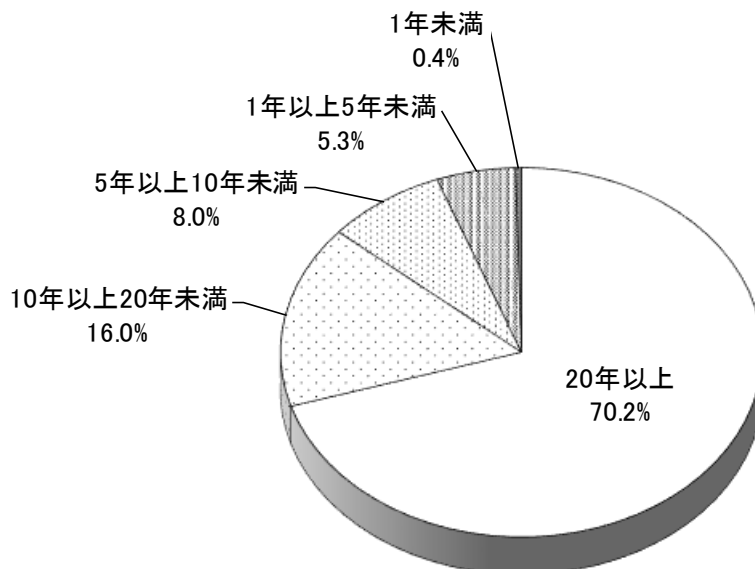
今回のアンケート調査は、「東京都居住意向」や「都政の満足感」、「東京都が取り組むべき分野」などについて毎年調査し、東京と都政に対する関心や意識の変化を経年的に探り、今後の都政運営の参考とするものです。



東京都居住年数

Q1 あなたは、東京都に通算でどのくらいの期間住んでいますか。

(n = 487)

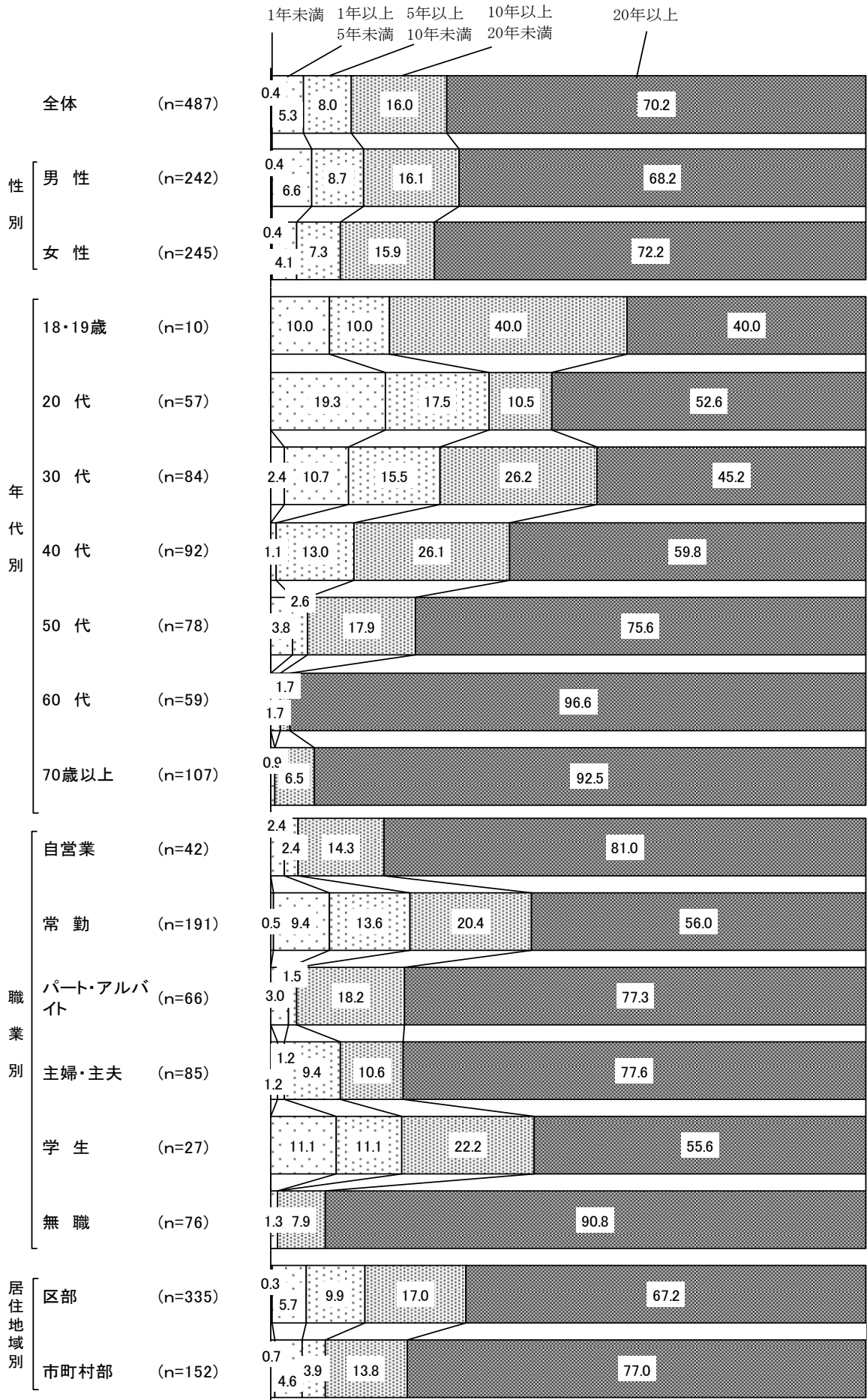


【調査結果の概要】

東京都に通算でどのくらいの期間住んでいるか聞いたところ、「20年以上」（70.2%）が約7割で最も高く、「10年以上20年未満」（16.0%）が1割半ばであった。

8割半ばの人が10年以上住んでおり、長期に渡り居住する人が多数であった。

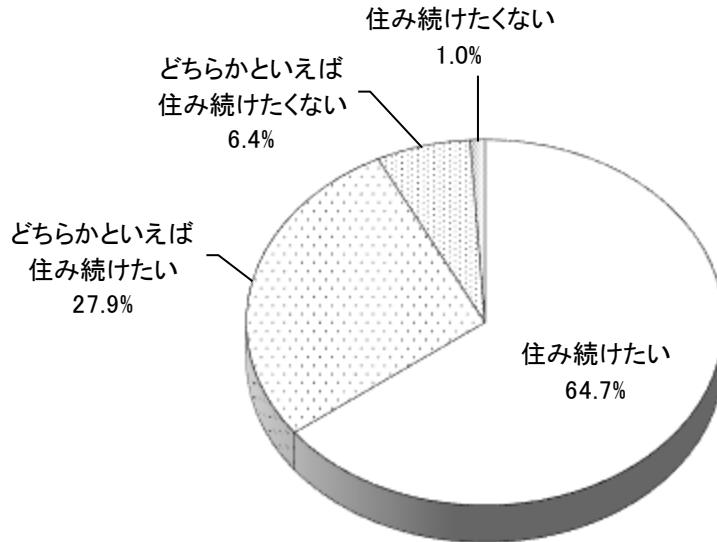
◎ 東京都居住年数（属性別）



東京都居住意向

Q2 あなたは、今後、東京都に住み続けたいと思いますか。

(n=487)



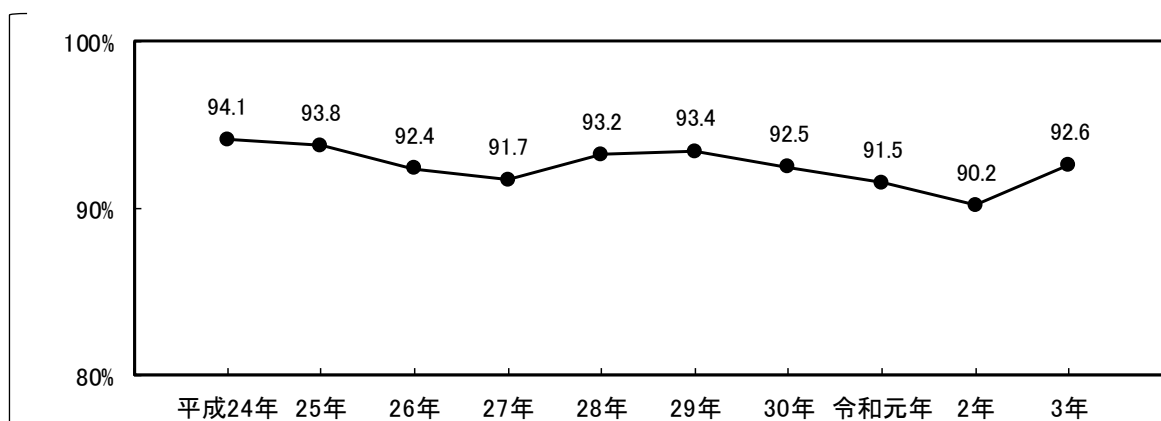
【調査結果の概要】

今後、東京都に住み続けたいか聞いたところ、『住み続けたい』(92.6%) (「住み続けたい」(64.7%)、「どちらかといえば住み続けたい」(27.9%)) が約9割であり、『住み続けたくない』(7.4%) (「どちらかといえば住み続けたくない」(6.4%)、「住み続けたくない」(1.0%)) は1割未満であった。

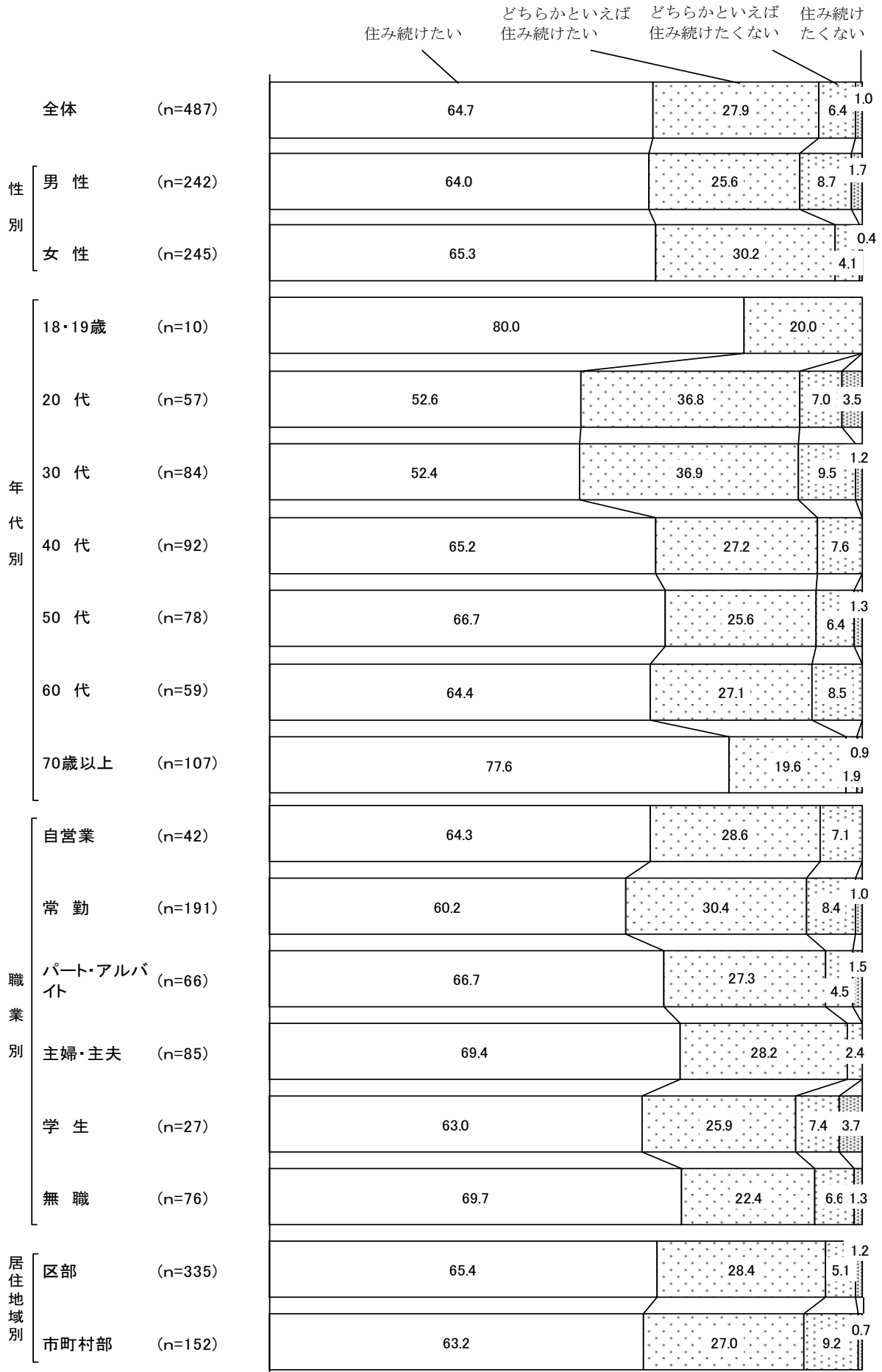
大多数の人が今後も東京都に住み続けたいとの意向であった。

経年変化では、前年度に比べて『住み続けたい』が2.4ポイント増加し、近年の減少傾向から上昇に転じた。

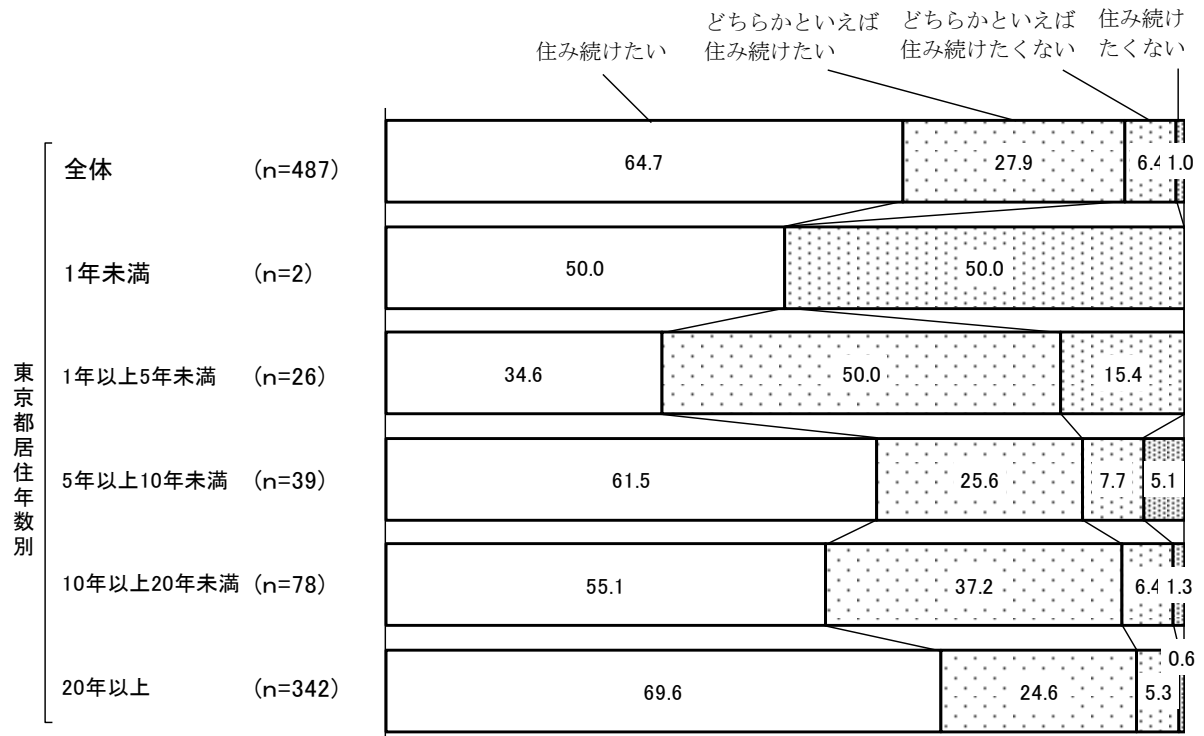
◎東京都に『住み続けたい』の経年変化(平成24年度～令和3年度)



◎東京都居住意向（属性別）



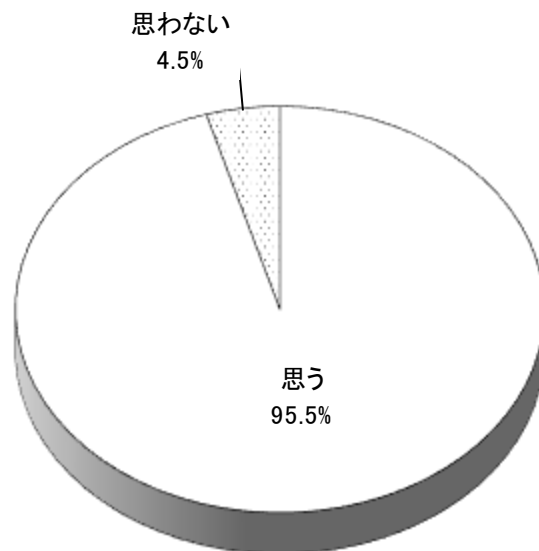
◎東京都居住意向（東京都居住年数別）



東京は魅力的な都市か

Q 3 あなたは、東京は魅力的な都市だと思いますか。

(n = 487)



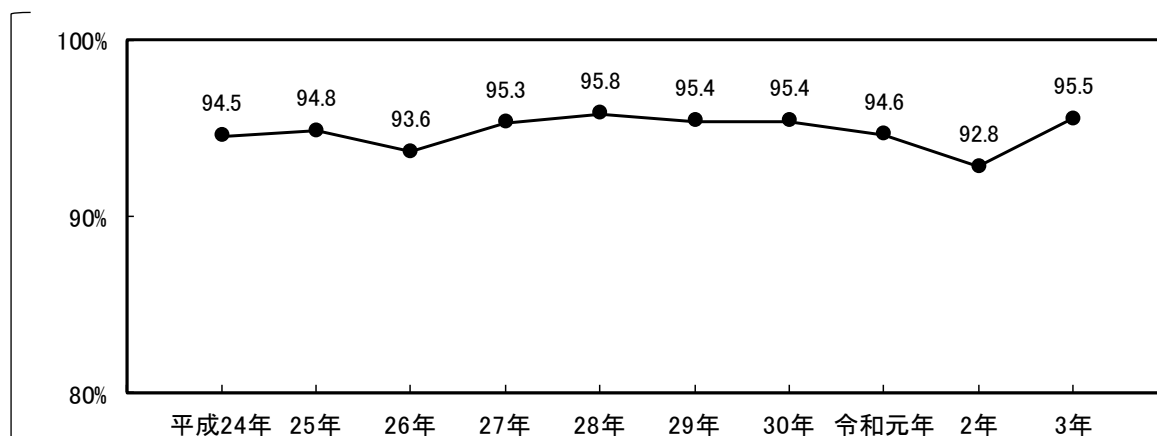
【調査結果の概要】

東京は魅力的な都市か聞いたところ、「思う」(95.5%)が9割半ばで、「思わない」(4.5%)は1割未満であった。

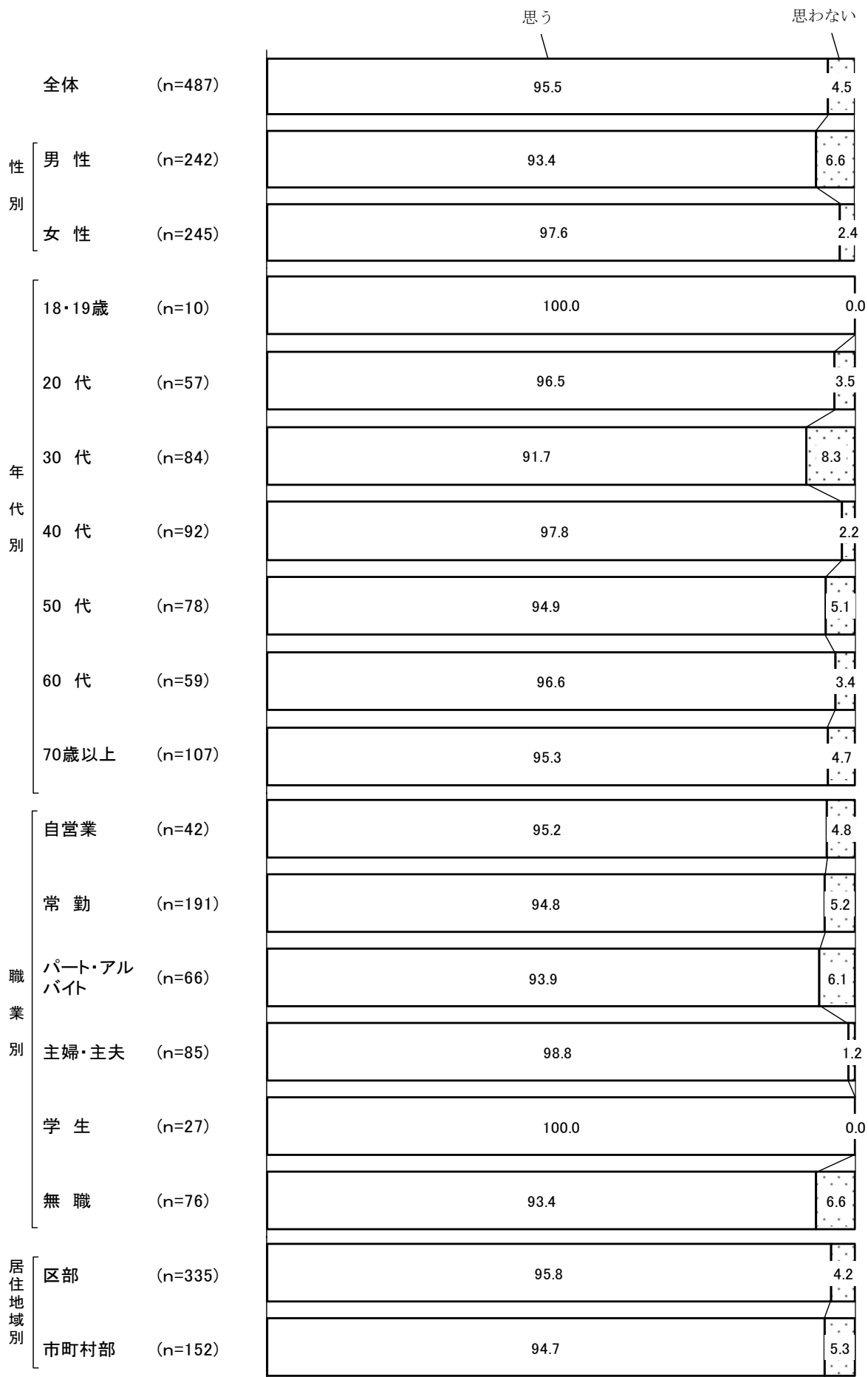
大多数の人が東京は魅力的な都市との意見であった。

経年変化では、前年度に比べて「思う」が2.7ポイント増加し、近年の減少傾向から上昇に転じた。

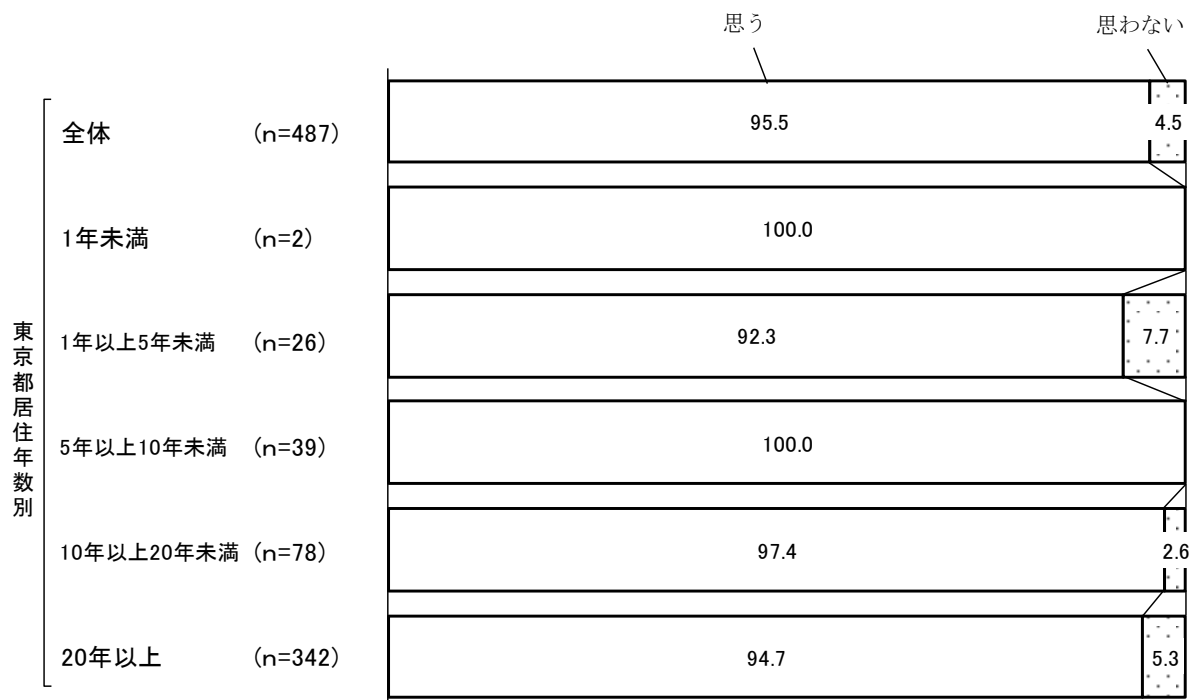
◎東京は魅力的な都市だと「思う」の経年変化(平成24年度～令和3年度)



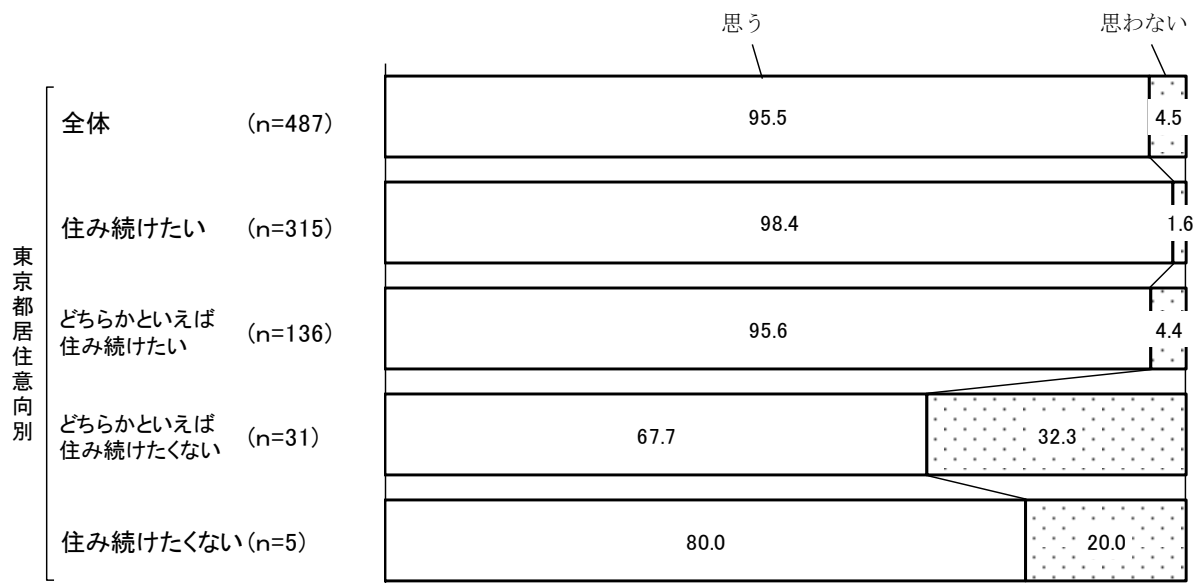
◎東京は魅力的な都市か (属性別)



◎東京は魅力的な都市か（東京都居住年数別）



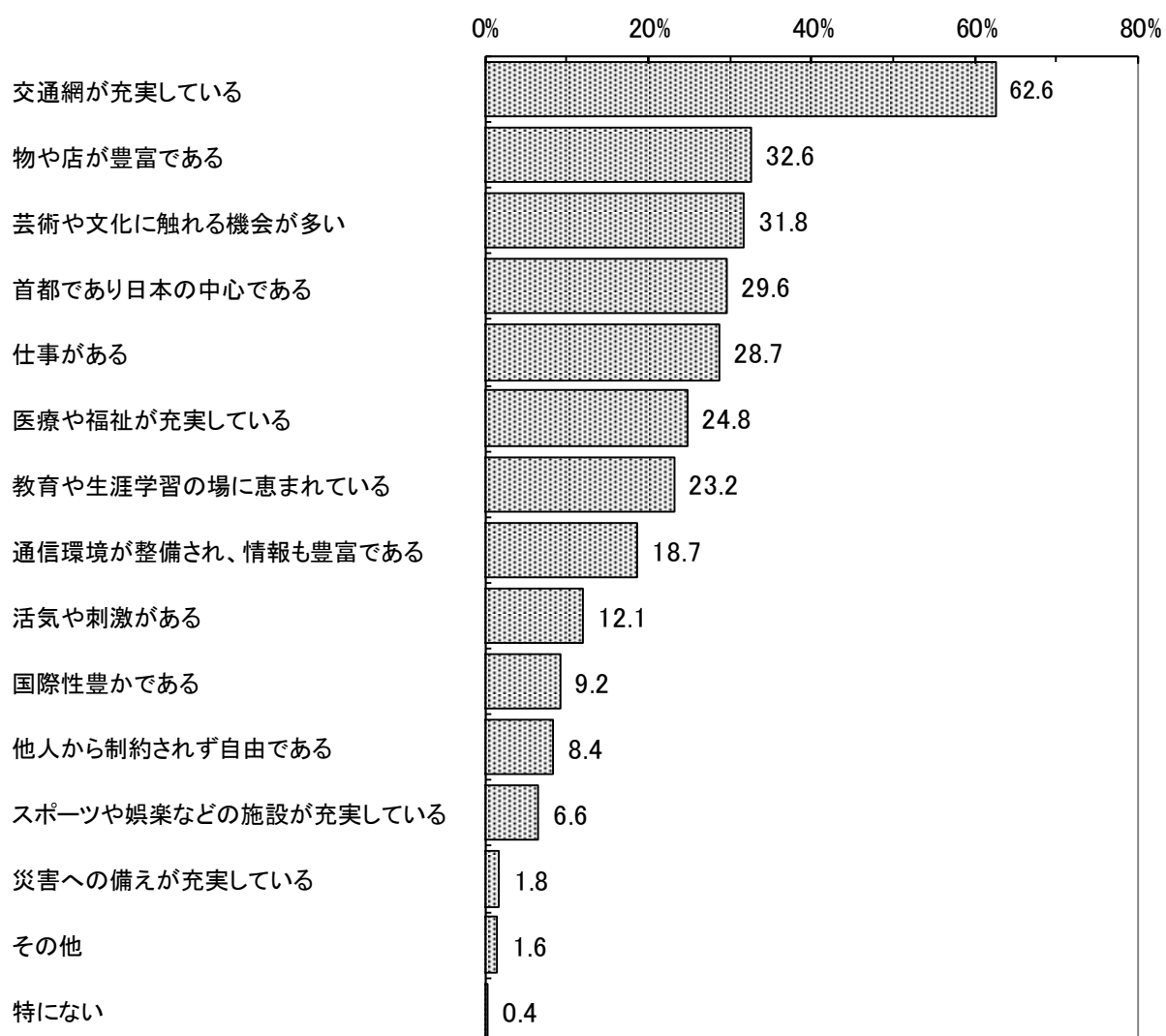
◎東京は魅力的な都市か（東京都居住意向別）



東京の良いところ（長所）

Q 4 東京の良いところ（長所）は何だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

3MA (n=487)

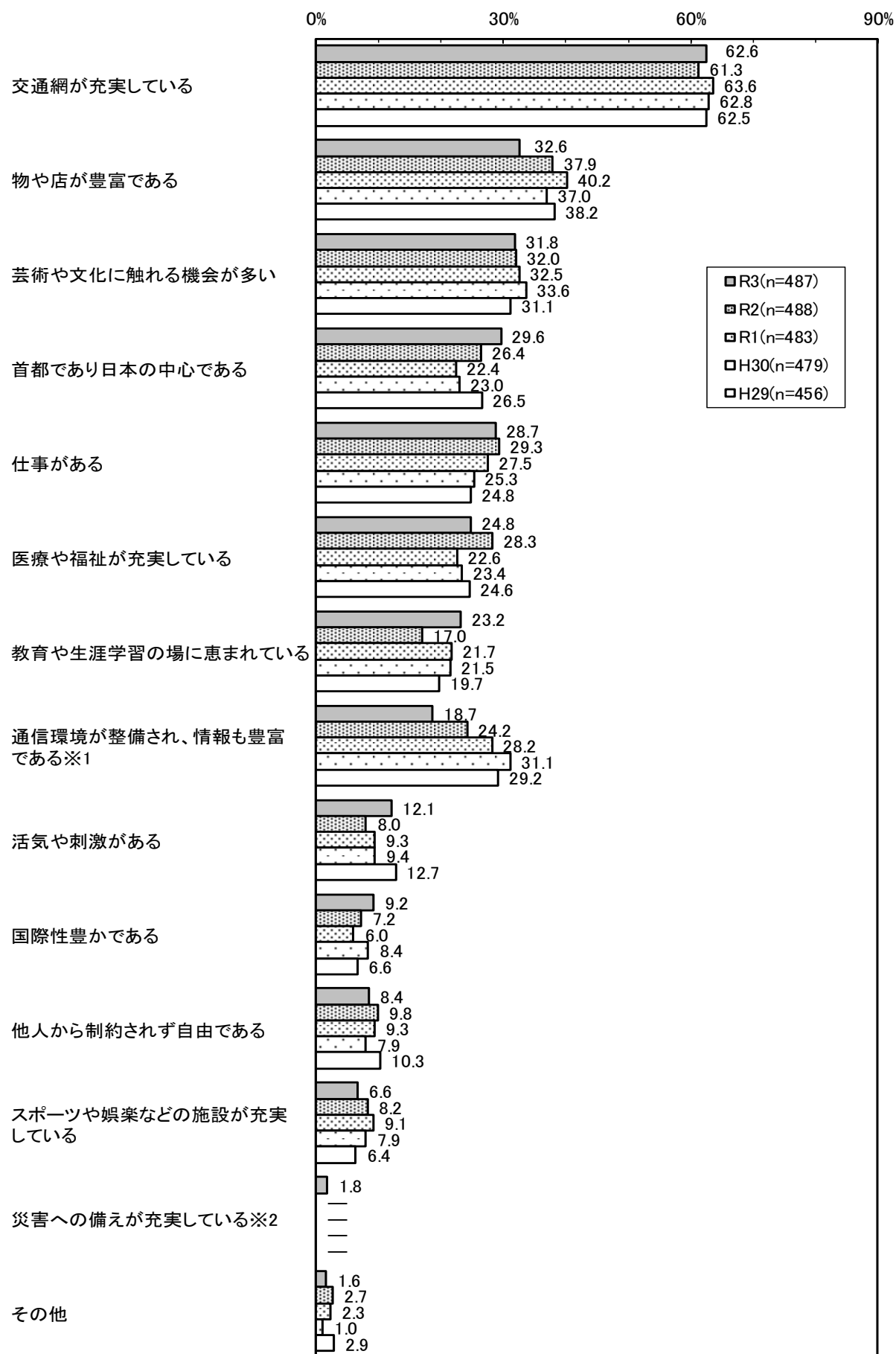


【調査結果の概要】

東京の良いところ（長所）について聞いたところ、「交通網が充実している」（62.6%）が6割を超えて最も高く、以下、「物や店が豊富である」（32.6%）、「芸術や文化に触れる機会が多い」（31.8%）などと続いている。

上位3位は前年度と同じである。経年変化（次頁）では、「首都であり日本の中心である」が前年度から3.2ポイント増加して6位から4位となり、令和元年度から増加傾向にある。

◎東京の良いところ（長所）の経年変化（平成29年度～令和3年度）



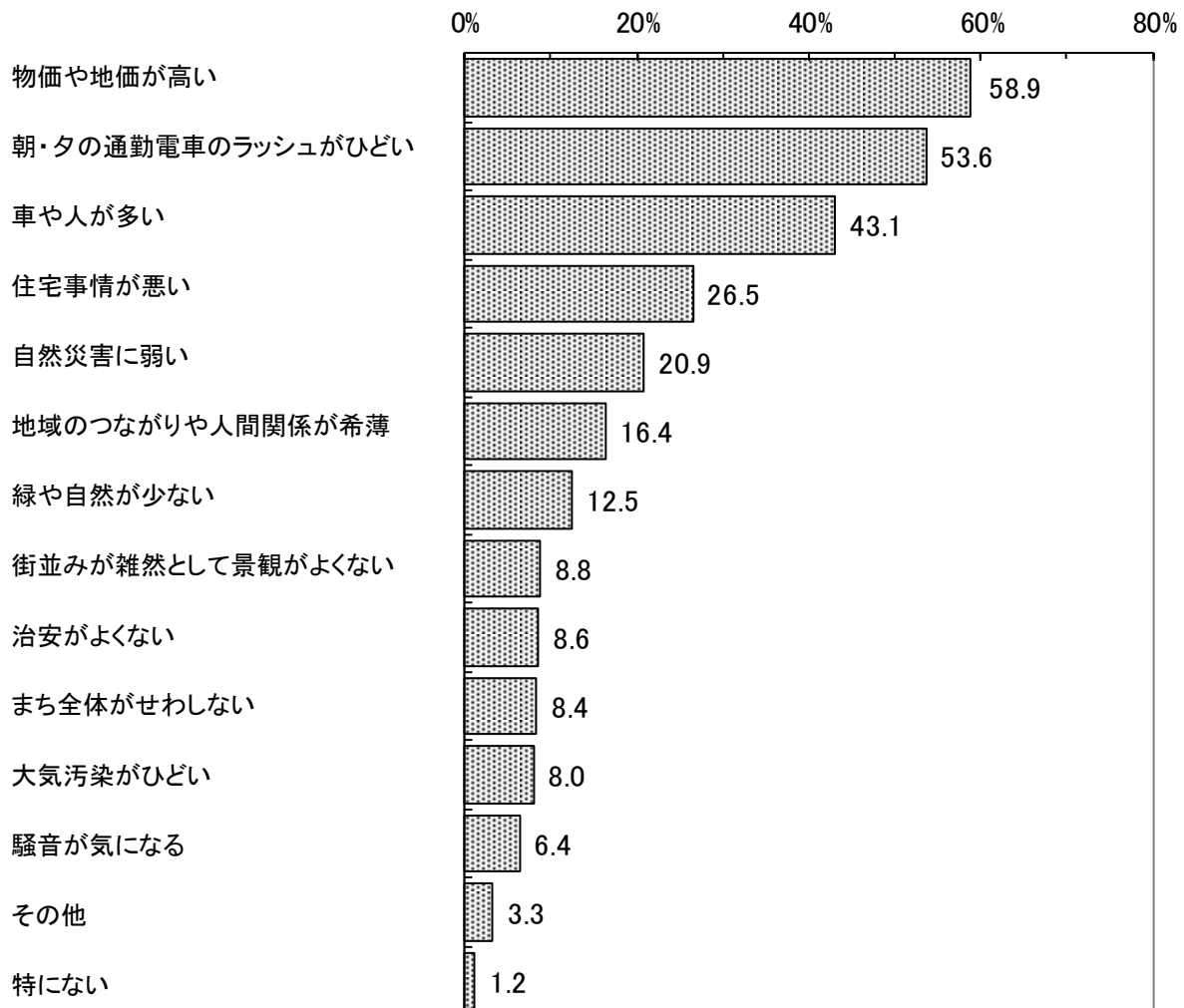
※1 令和2年度までは「情報が豊富である」で集計

※2 令和3年度から集計

東京の良くないところ（短所）

Q 5 東京の良くないところ（短所）は何だと思えますか。次の中から3つまで選んでください。

3MA (n=487)

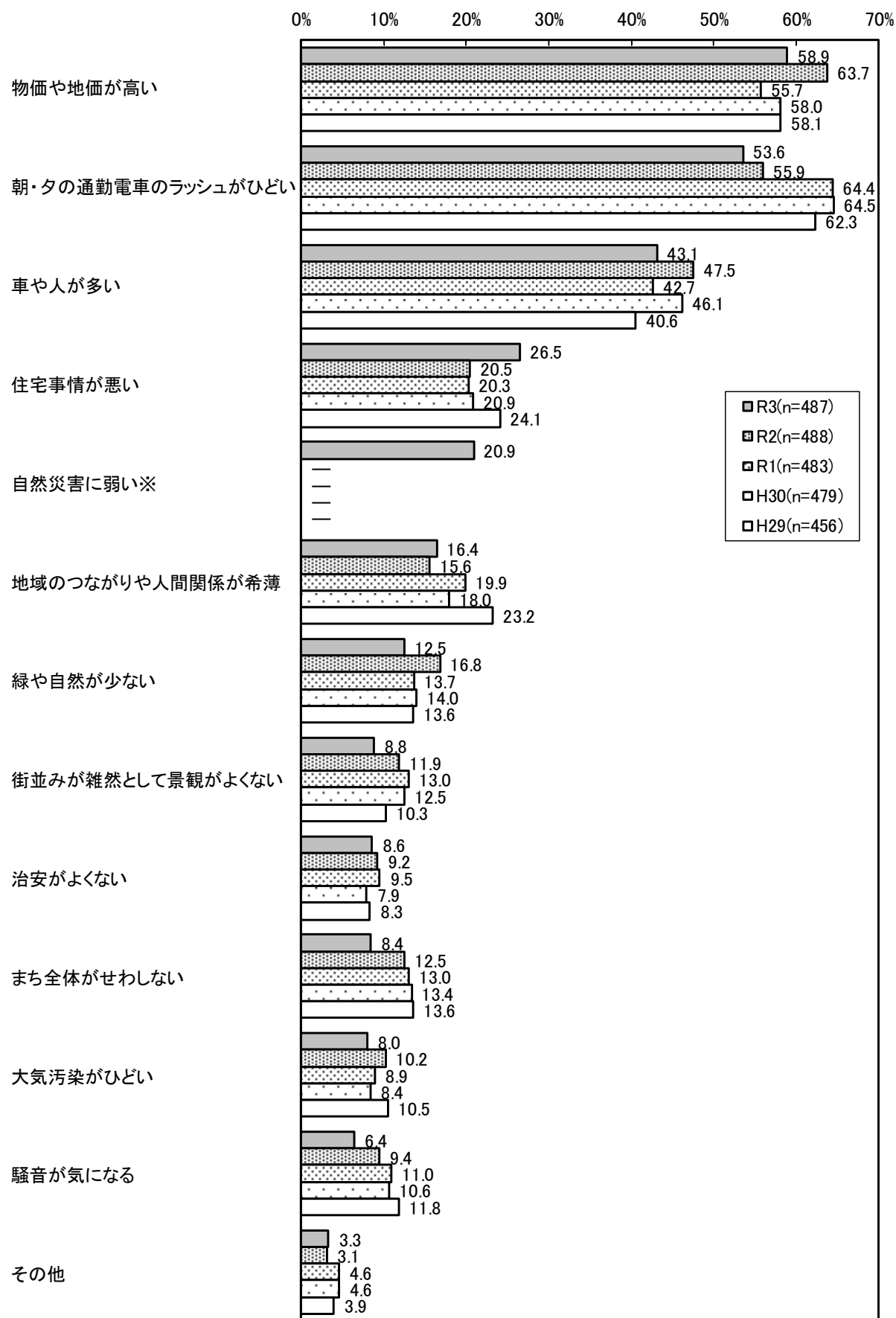


【調査結果の概要】

東京の良くないところ（短所）について聞いたところ、「物価や地価が高い」（58.9%）が約6割で最も高く、以下、「朝・夕の通勤電車のラッシュがひどい」（53.6%）、「車や人が多い」（43.1%）などと続いている。

上位4位は前年度と同じである。経年変化（次頁）では、「朝・夕の通勤電車のラッシュがひどい」の割合が令和元年度から減少傾向にある。

◎東京の良くないところ（短所）の経年変化（平成29年度～令和3年度）

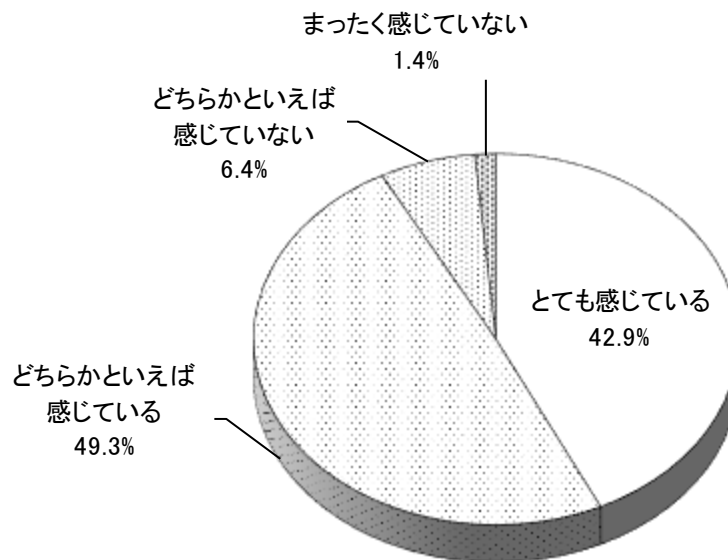


※ 令和3年度から集計

東京への愛着

Q 6 あなたは、都民として、東京に愛着を感じていますか。

(n = 487)

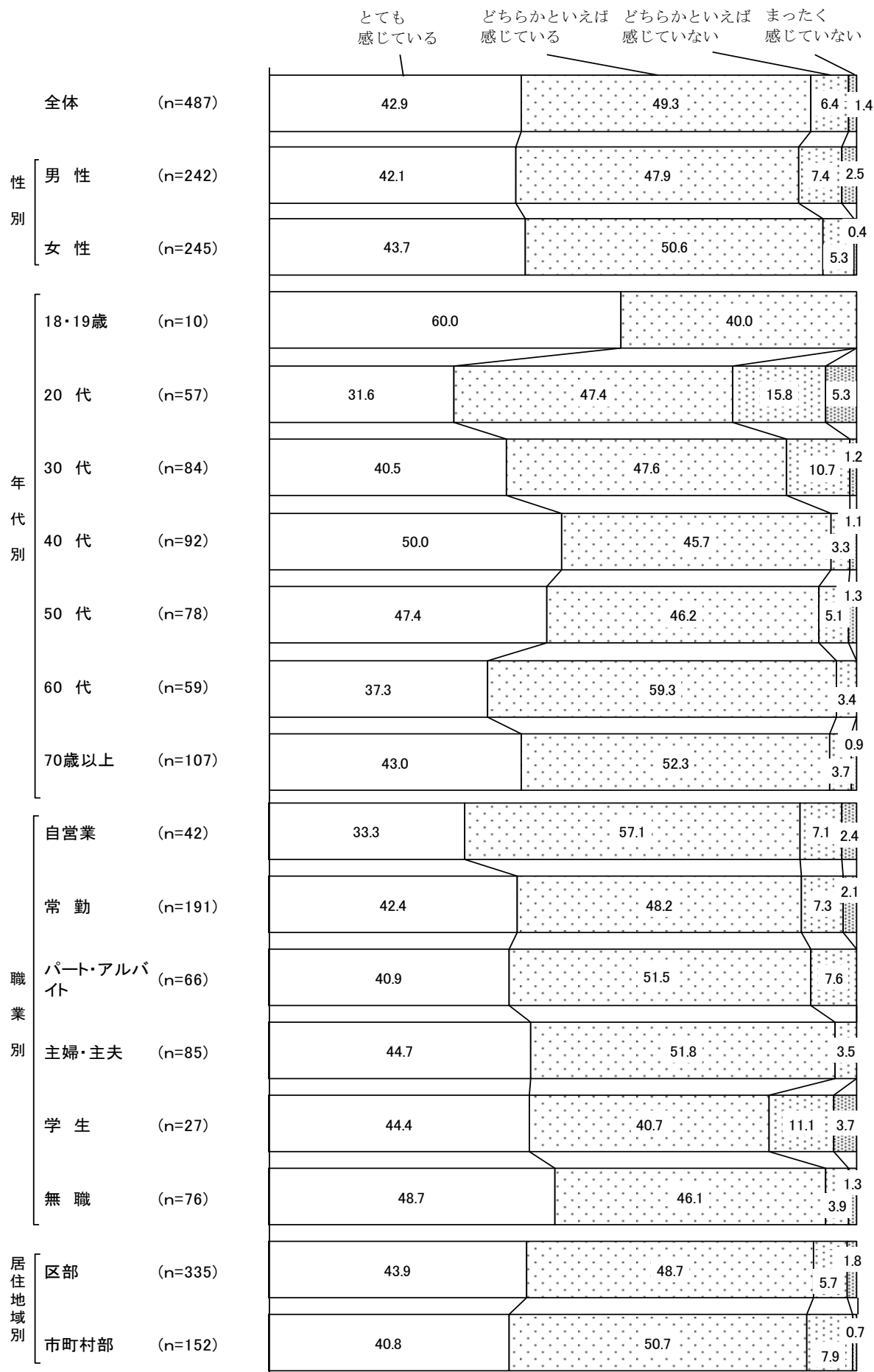


【調査結果の概要】

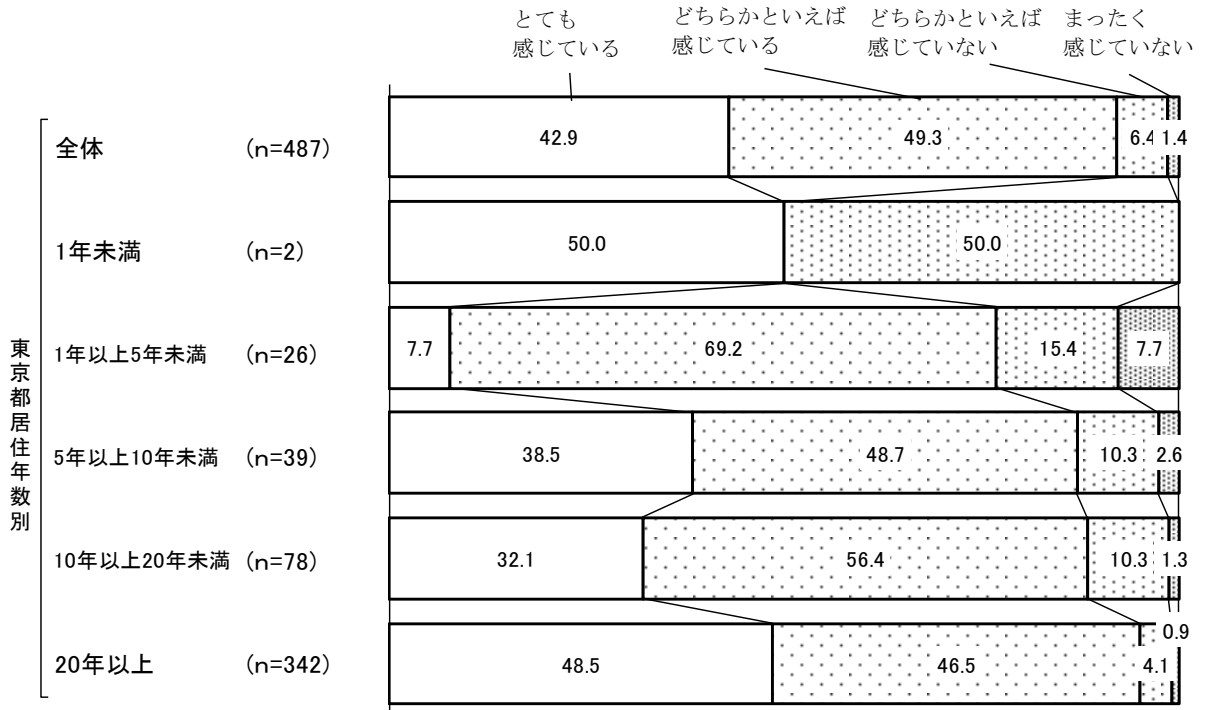
東京に愛着を感じているか聞いたところ、『感じている』(92.2%) (「とても感じている」(42.9%)、「どちらかといえば感じている」(49.3%)) が約9割で、『感じていない』(7.8%) (「どちらかといえば感じていない」(6.4%)、「まったく感じていない」(1.4%)) は1割未満であった。

大多数の人が東京に愛着があるとの結果となった。

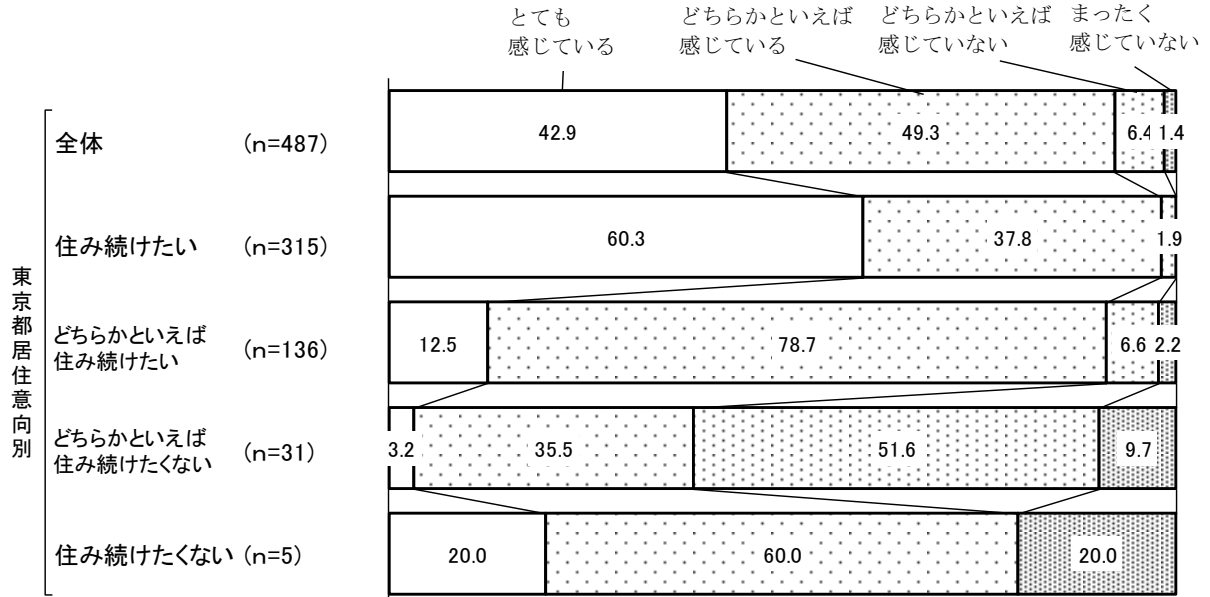
◎東京への愛着（属性別）



◎東京への愛着（東京都居住年数別）



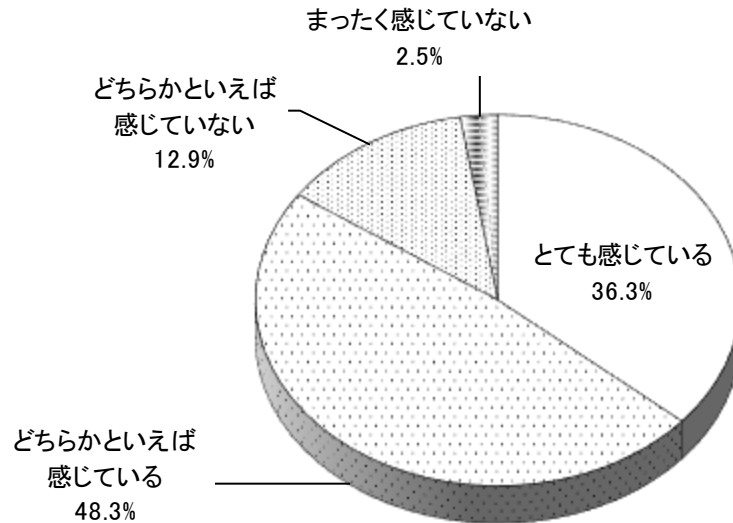
◎東京への愛着（東京都居住意向別）



東京への誇り

Q7 あなたは、都民として、東京に誇りを感じていますか。

(n = 487)

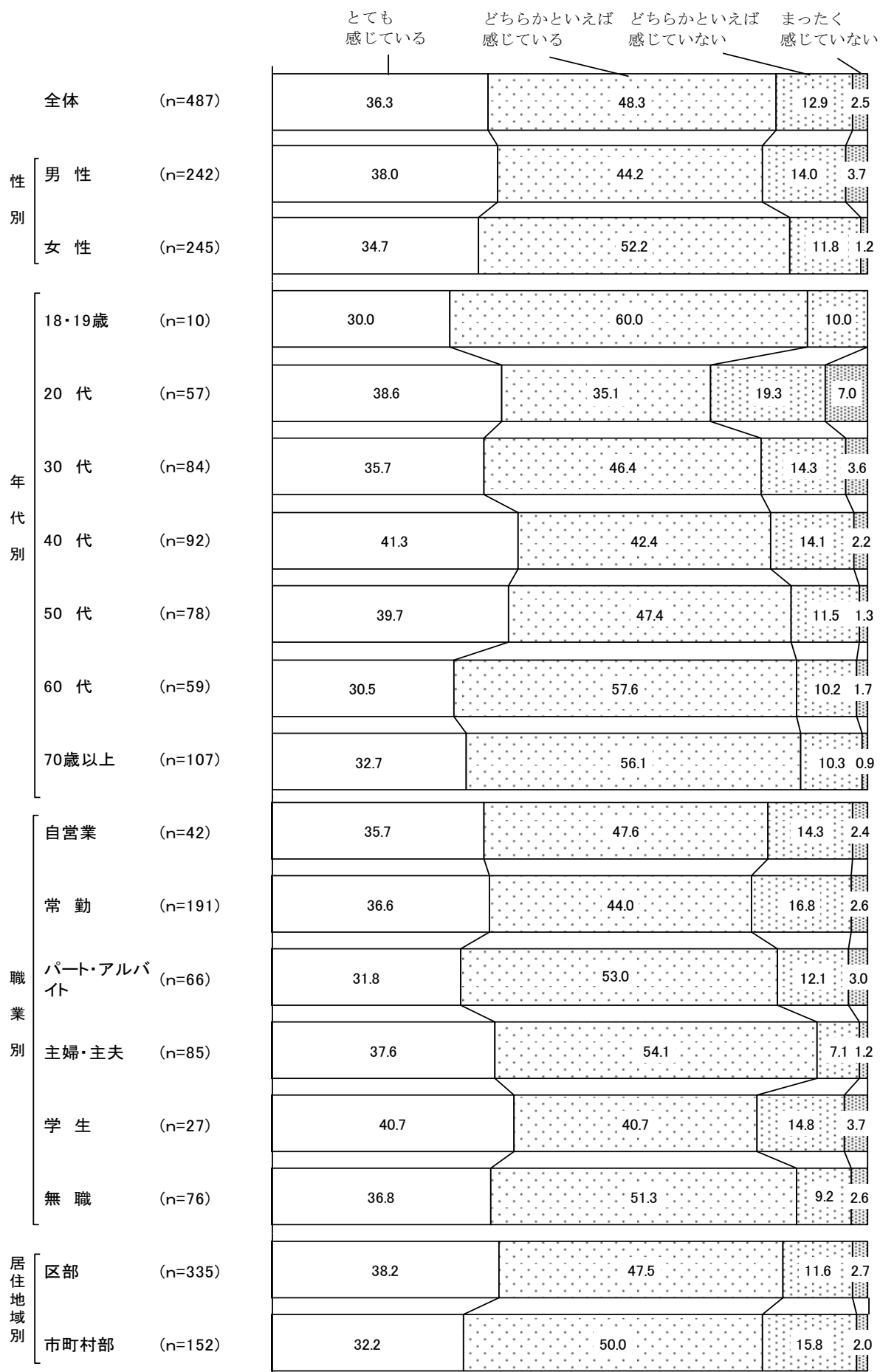


【調査結果の概要】

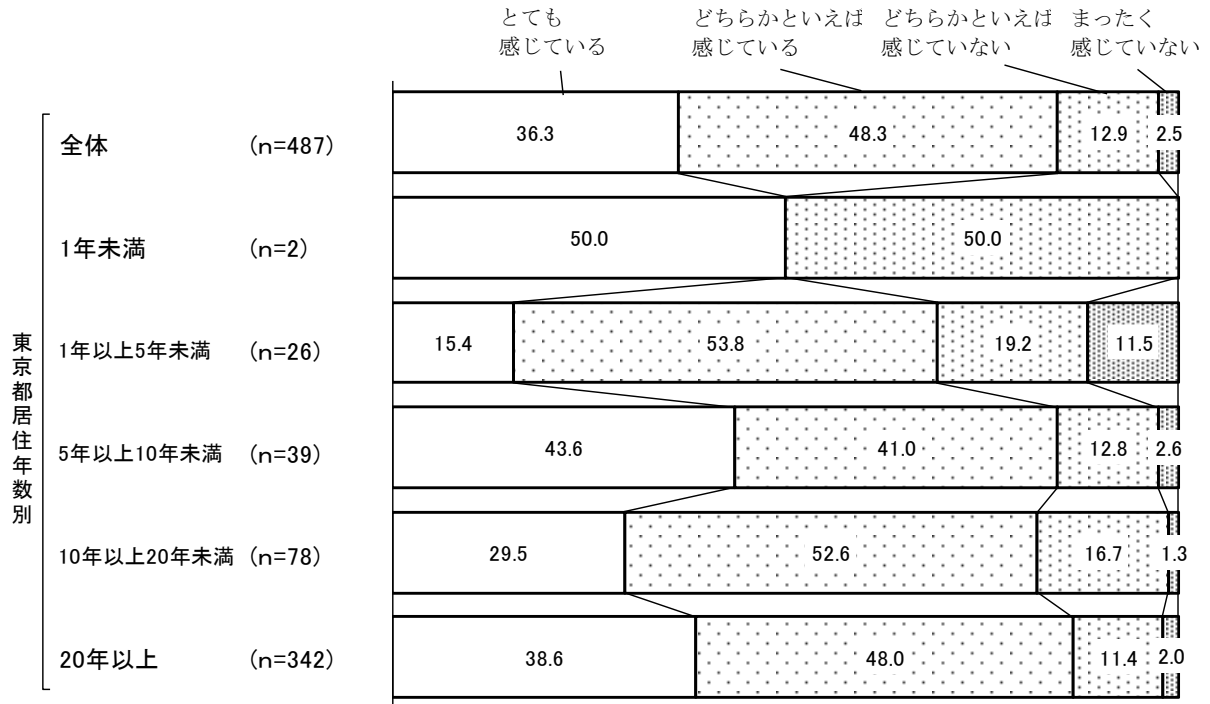
東京に誇りを感じているか聞いたところ、『感じている』(84.6%) (「とても感じている」(36.3%)、「どちらかといえば感じている」(48.3%)) が 8 割半ばで、『感じていない』(15.4%) (「どちらかといえば感じていない」(12.9%)、「まったく感じていない」(2.5%)) は 1 割半ばであった。

大多数の人が東京への誇りがあるとの結果となった。

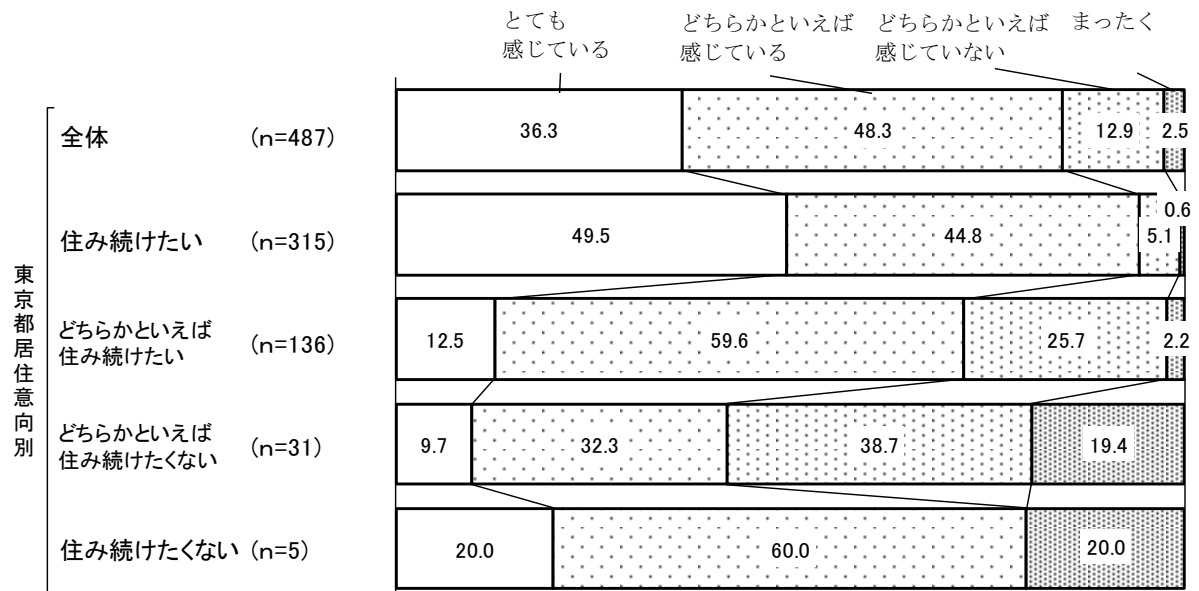
◎東京への誇り（属性別）



◎東京への誇り（東京都居住年数別）



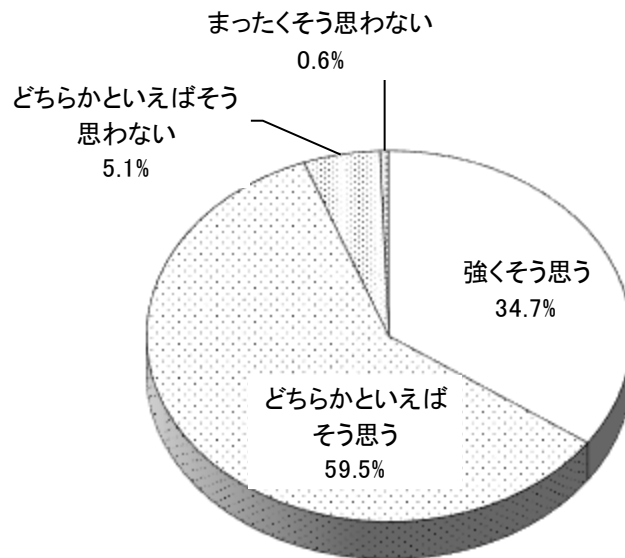
◎東京への誇り（東京都居住意向別）



東京をより良くするために関わりたいか

Q8 あなたは、都民として、東京をより良くするために自ら関わっていききたいと思いませんか。

(n=487)

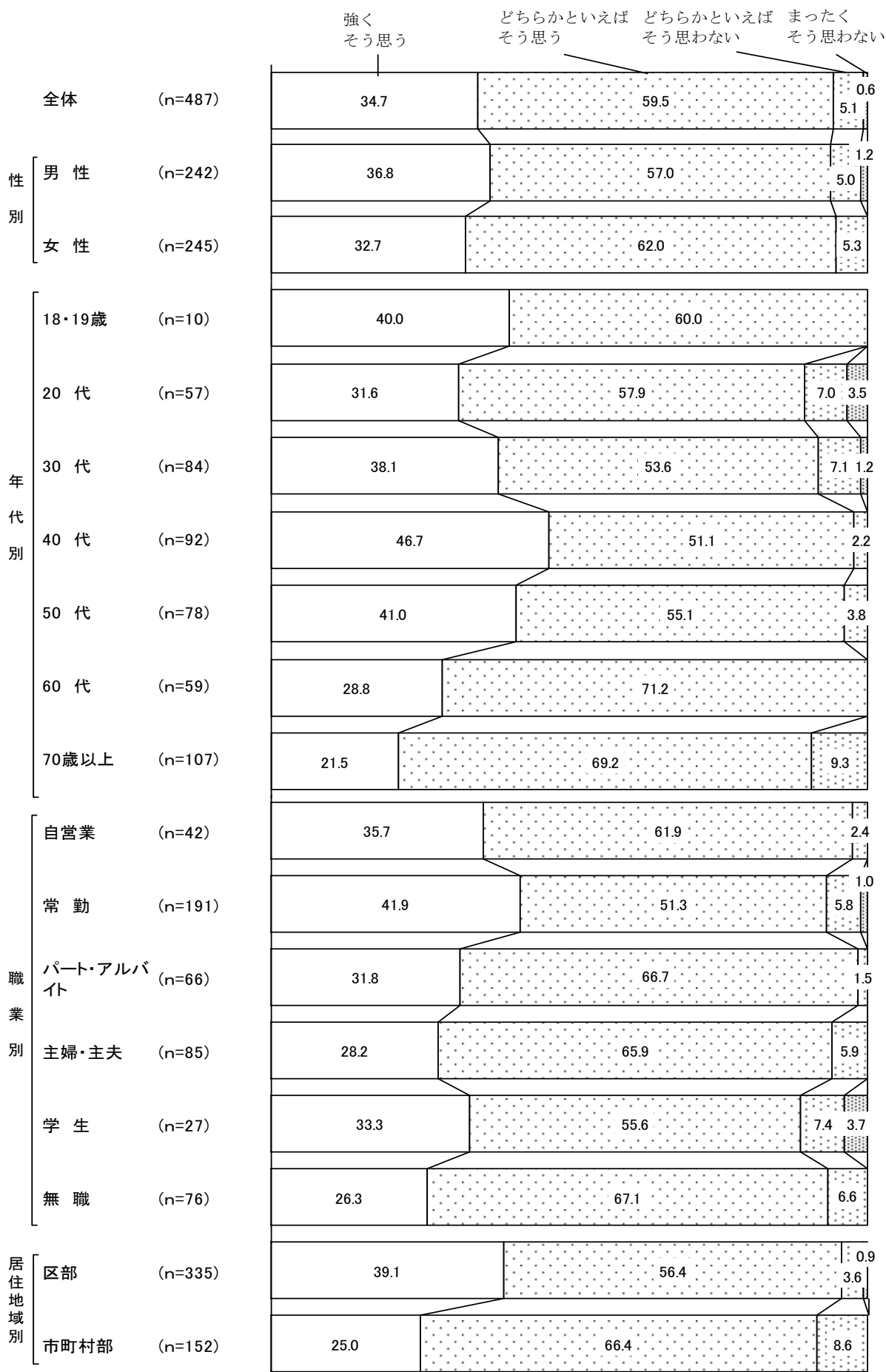


【調査結果の概要】

東京をより良くするために自ら関わっていききたいか聞いたところ、『そう思う』(94.2%) (「強くそう思う」(34.7%)、「どちらかといえばそう思う」(59.5%)) が9割半ばで、『そう思わない』(5.7%) (「どちらかといえばそう思わない」(5.1%)、「まったくそう思わない」(0.6%)) は1割未満であった。

大多数の人が東京をより良くするために自ら関わっていききたいと思っているとの結果となった。

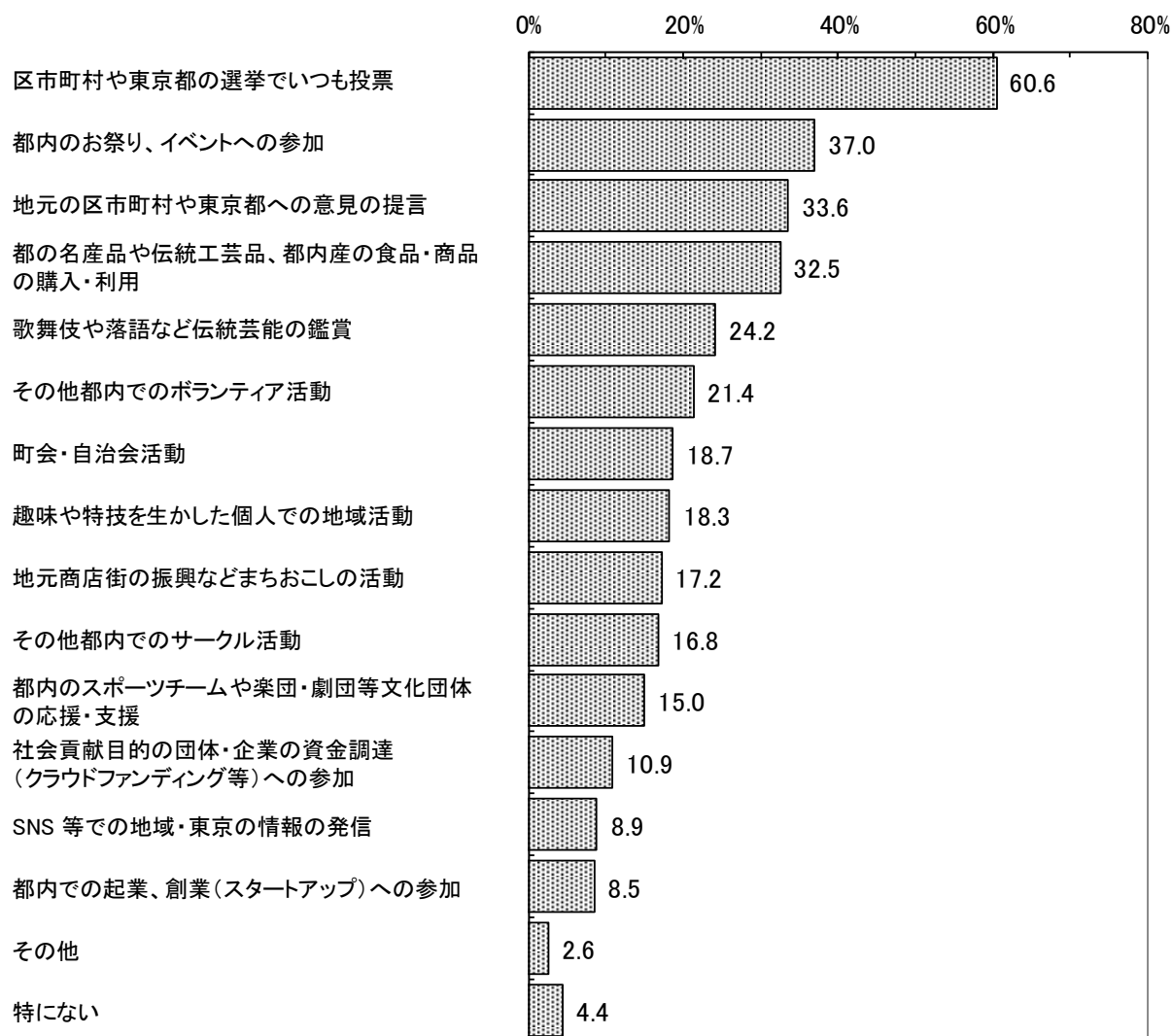
◎東京をより良くするために関わりたいか（属性別）



東京をより良くするための関わり方（現状）

Q9 Q8で「強くそう思う」、「どちらかといえばそう思う」を選んだ方に伺います。
あなたは東京をより良くするために、現在、具体的にどのようなことで関わっていますか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。

MA (n=459)



【調査結果の概要】

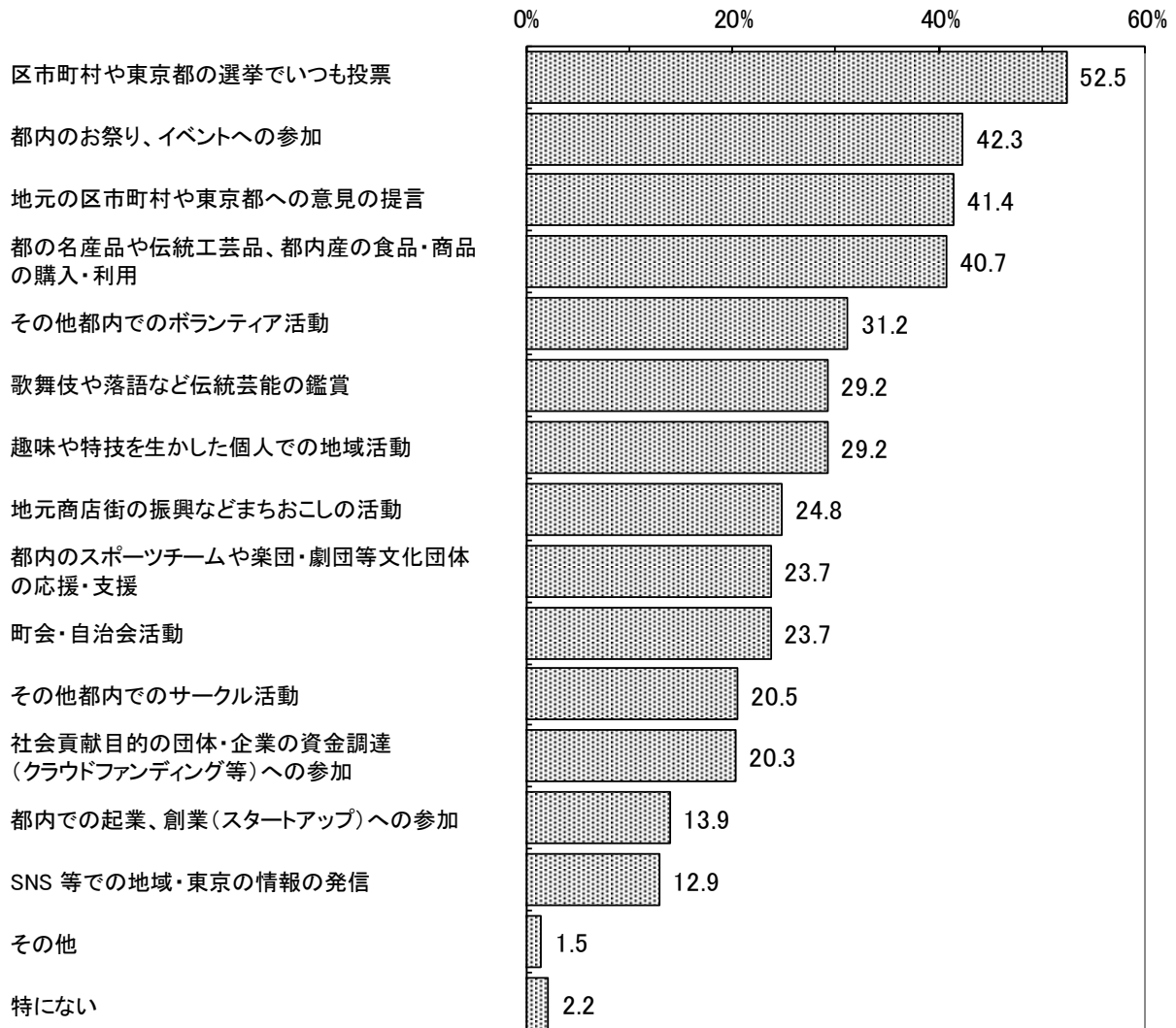
Q8で「強くそう思う」、「どちらかといえばそう思う」を選択した方に、東京をより良くするために、現在、具体的にどのようなことで関わっているか聞いたところ、「区市町村や東京都の選挙でいつも投票」（60.6%）が約6割で最も高く、以下、「都内のお祭り、イベントへの参加」（37.0%）、「地元の区市町村や東京都への意見の提言」（33.6%）などと続いている。

東京をより良くするための関わり方（希望）

Q10 Q8で「強くそう思う」、「どちらかといえばそう思う」を選んだ方に伺います。
あなたは東京をより良くするために、今後、どのようなことに関わっていきたいですか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。

※新たに関わっていきたいことに加え、今まで関わってきたことで続けたいものも含まれます。

MA (n=459)



【調査結果の概要】

Q8で「強くそう思う」、「どちらかといえばそう思う」を選択した方に、東京をより良くするために、今後、具体的にどのようなことで関わっていきたいか聞いたところ、「区市町村や東京都の選挙でいつも投票」（52.5%）が5割を超えて最も高く、以下、「都内のお祭り、イベントへの参加」（42.3%）、「地元の区市町村や東京都への意見の提言」（41.4%）などと続いている。

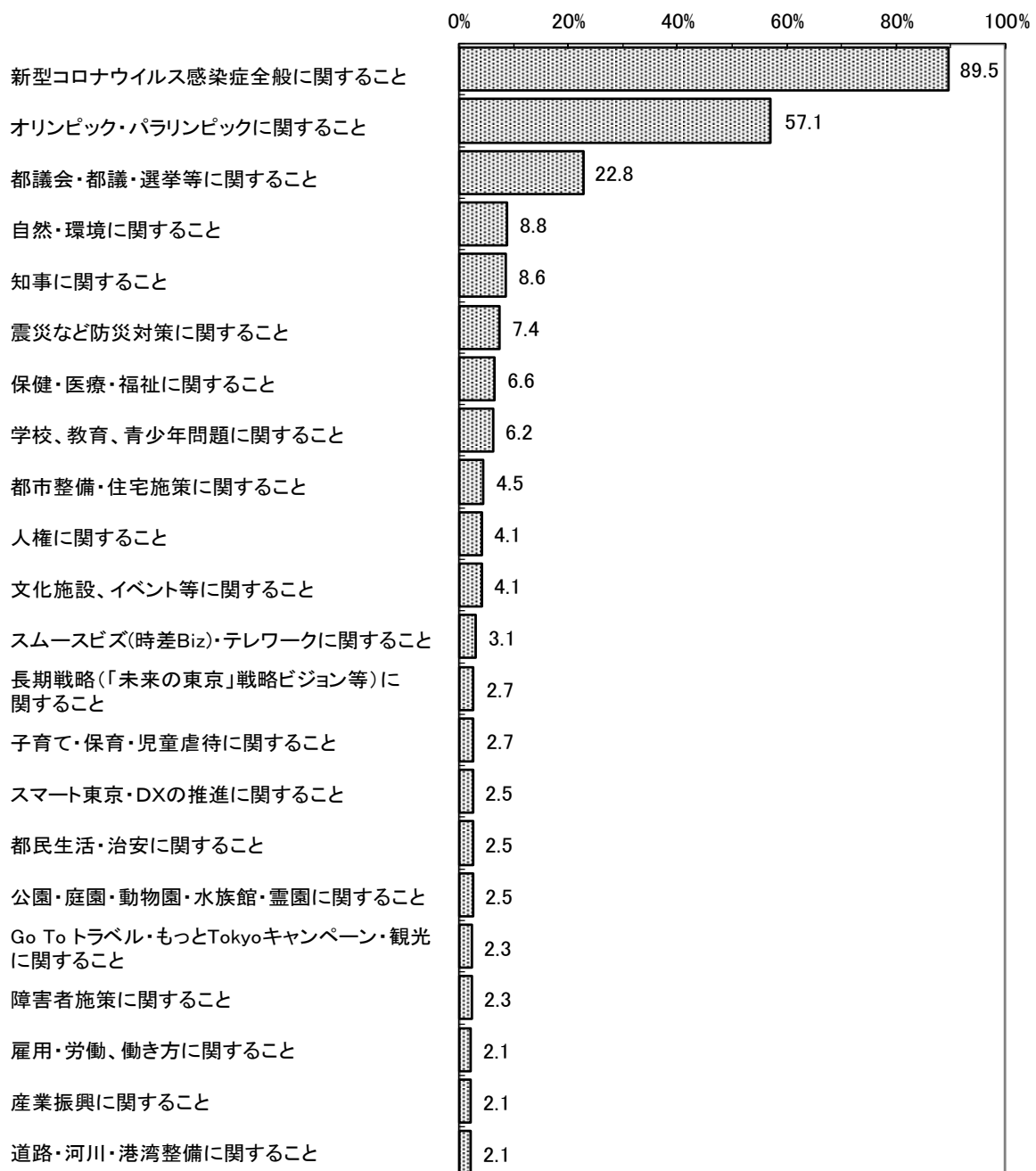
関心を抱いた都政の出来事

Q11 過去1年間(令和2年12月から令和3年11月まで)で、関心を抱いた都政の出来事(関心を抱いた話題、評価できる施策など)を5つまで記入してください。

注1 集計結果は、対象期間に係る都公式HP(「広報東京都」・「報道発表」)などを参考に、自由記述された都政の出来事を、関連する項目に集約したもの

注2 グラフは、回答者487名が上位20項目を選択した割合

(5MA) (n=487)



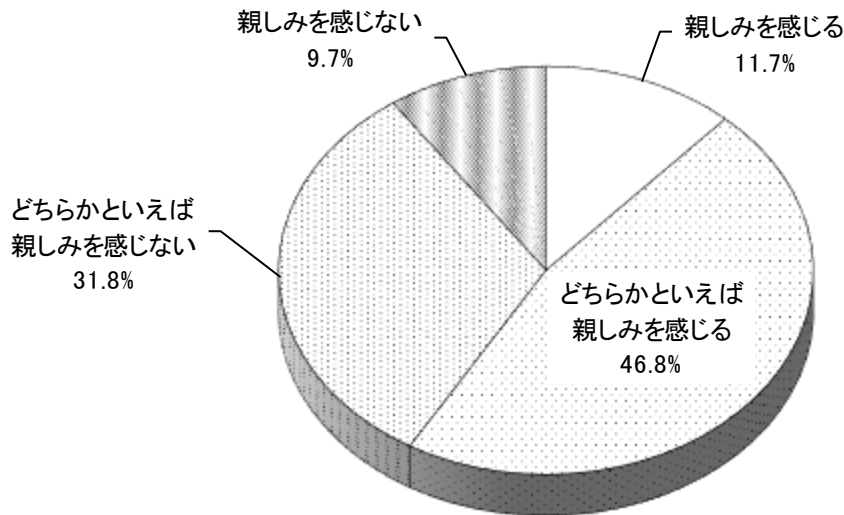
【調査結果の概要】

過去1年間で関心を抱いた都政の出来事について聞いたところ、「新型コロナウイルス感染症全般に関すること」(89.5%)が最も高く、以下、「オリンピック・パラリンピックに関すること」(57.1%)、「都議会・都議・選挙等に関すること」(22.8%)などと続いている。

都政の親近感

Q12 あなたは、最近の都政に親しみを感じますか。

(n = 487)



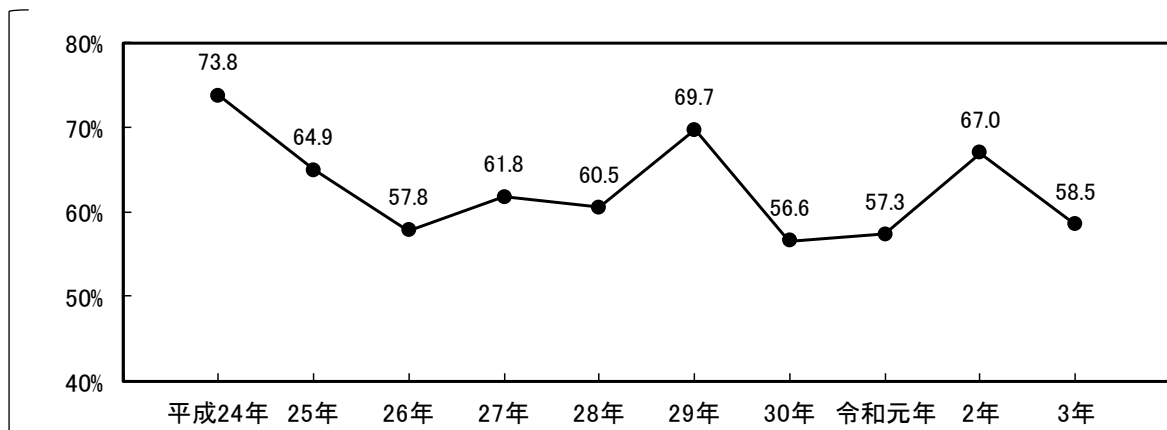
【調査結果の概要】

最近の都政に親しみを感じるか聞いたところ、『親しみを感じる』(58.5%) (「親しみを感じる」(11.7%)、「どちらかといえば親しみを感じる」(46.8%)) が6割近くで、『親しみを感じない』(41.5%) (「どちらかといえば親しみを感じない」(31.8%)、「親しみを感じない」(9.7%)) は4割超であった。

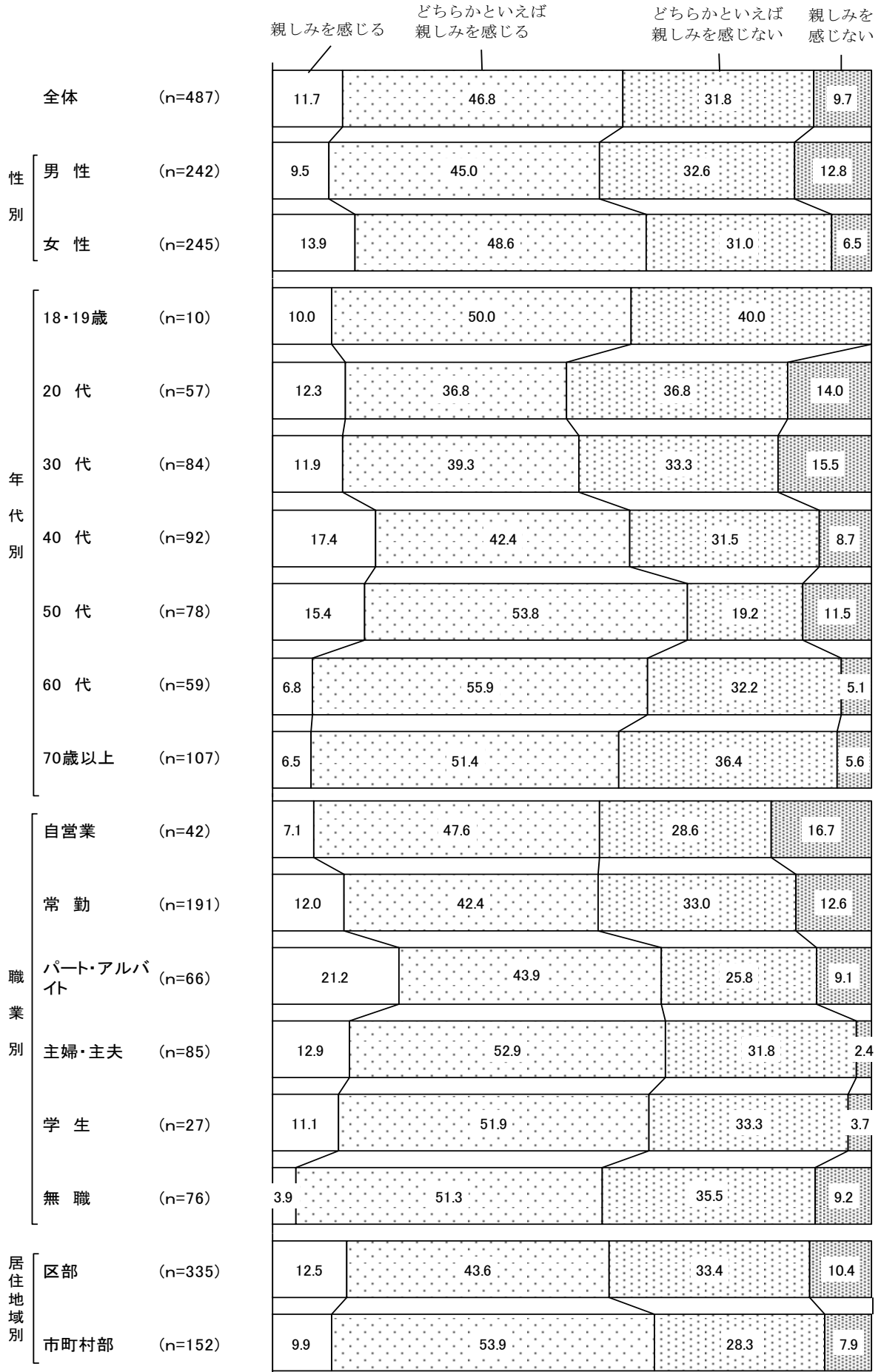
過半数の人が最近の都政に親しみを感じるとの意見であった。

経年変化では、前年度に比べて『親しみを感じる』が8.5ポイント減少した。

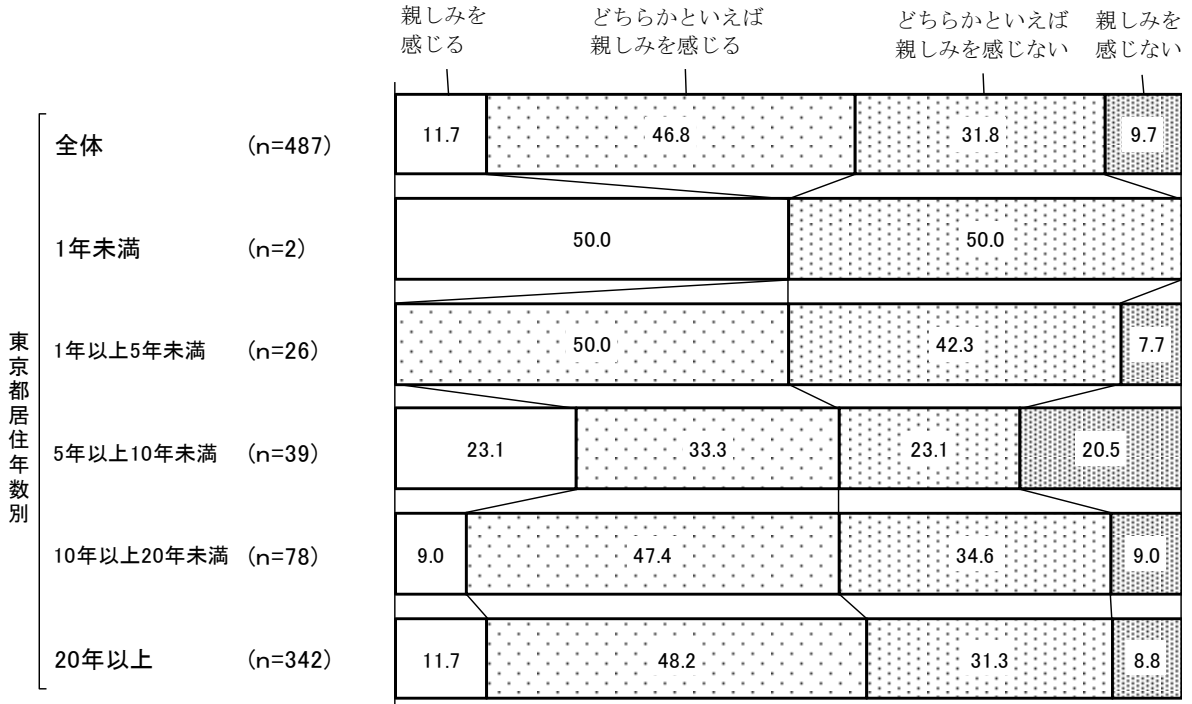
◎最近の都政に『親しみを感じる』の経年変化 (平成24年度～令和3年度)



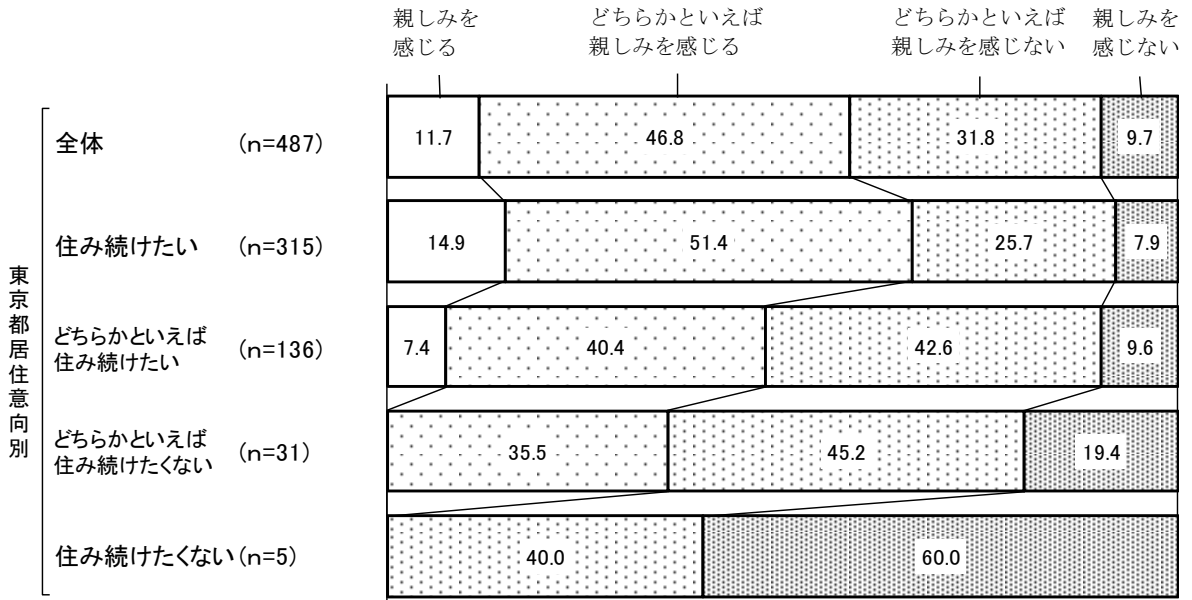
◎都政への親近感（属性別）



◎都政への親近感（東京都居住年数別）



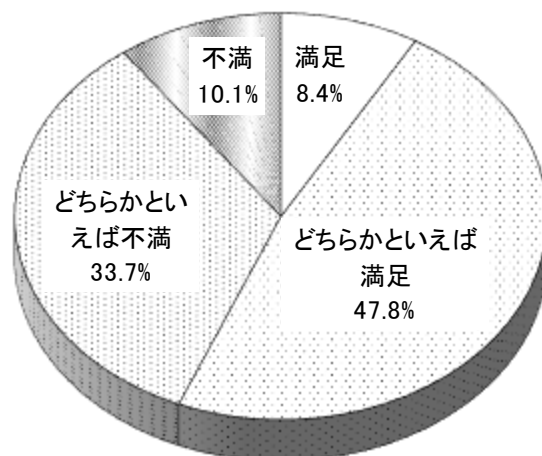
◎都政への親近感（東京都居住意向別）



都政の満足感

Q13 あなたは、最近の都政に満足していますか。

(n = 487)



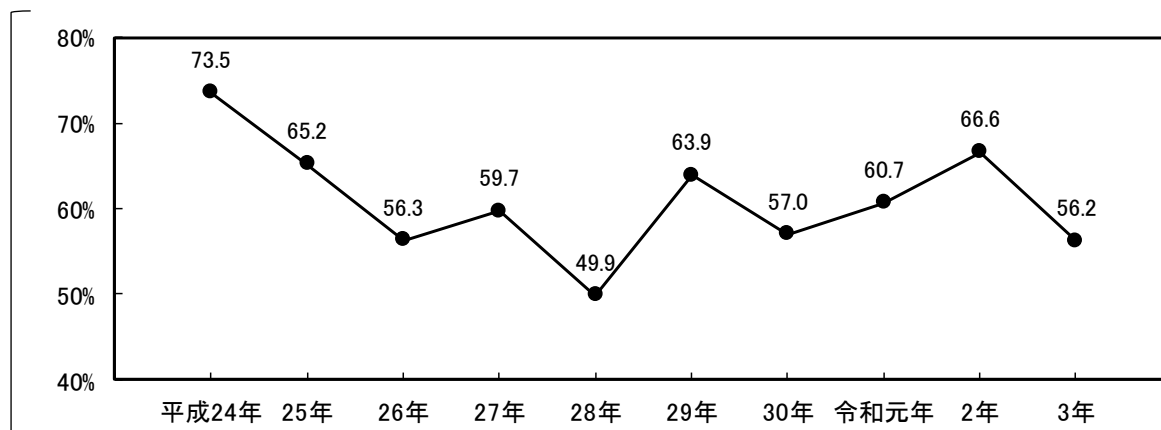
【調査結果の概要】

最近の都政に満足しているか聞いたところ、『満足』(56.2%) (「満足」(8.4%)、「どちらかといえば満足」(47.8%)) が5割半ばで、『不満』(43.8%) (「どちらかといえば不満」(33.7%)、「不満」(10.1%)) は4割半ばであった。

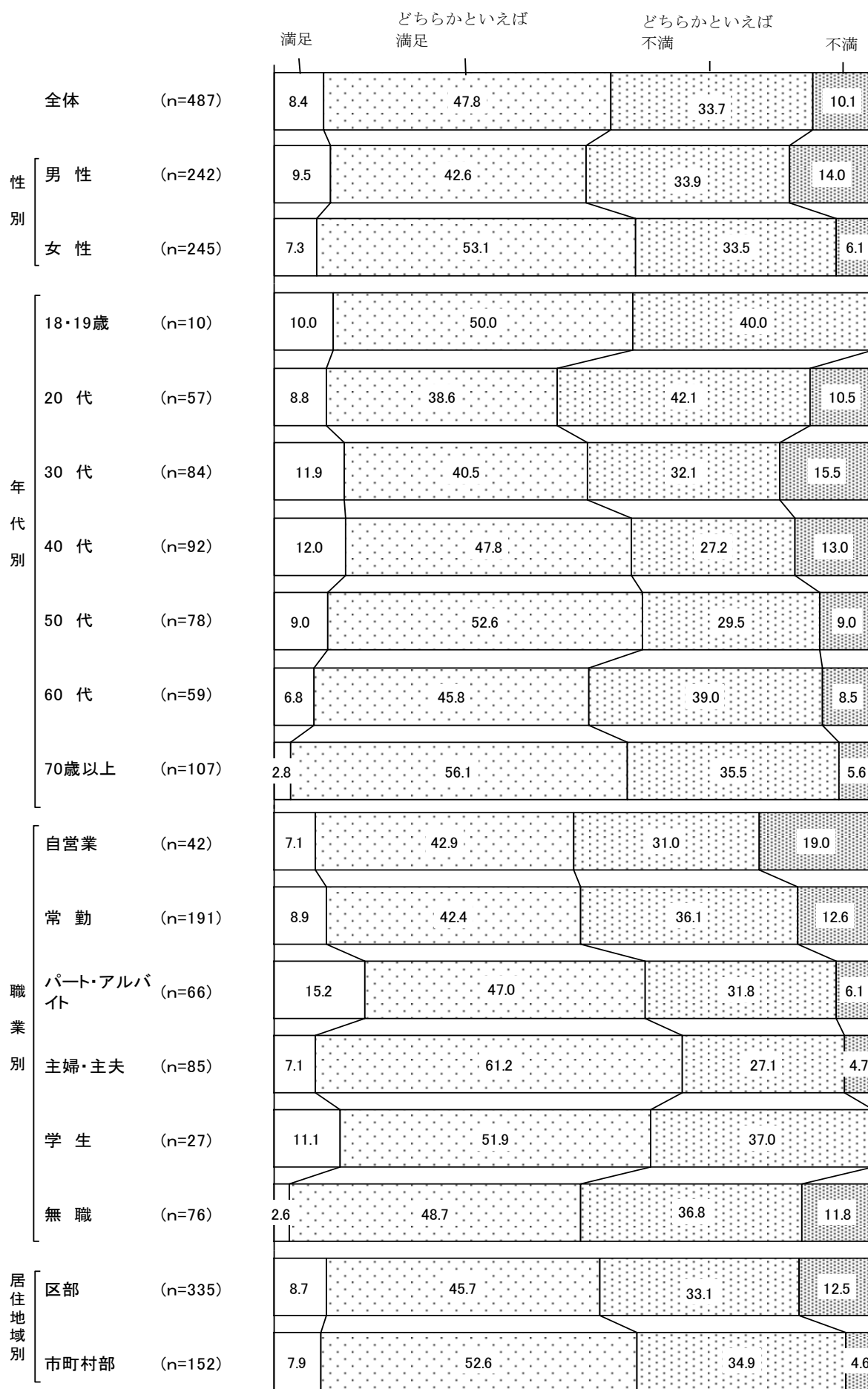
過半数の人が最近の都政に満足しているとの意見であった。

経年変化では、前年度に比べて『満足』が10.4ポイント減少した。

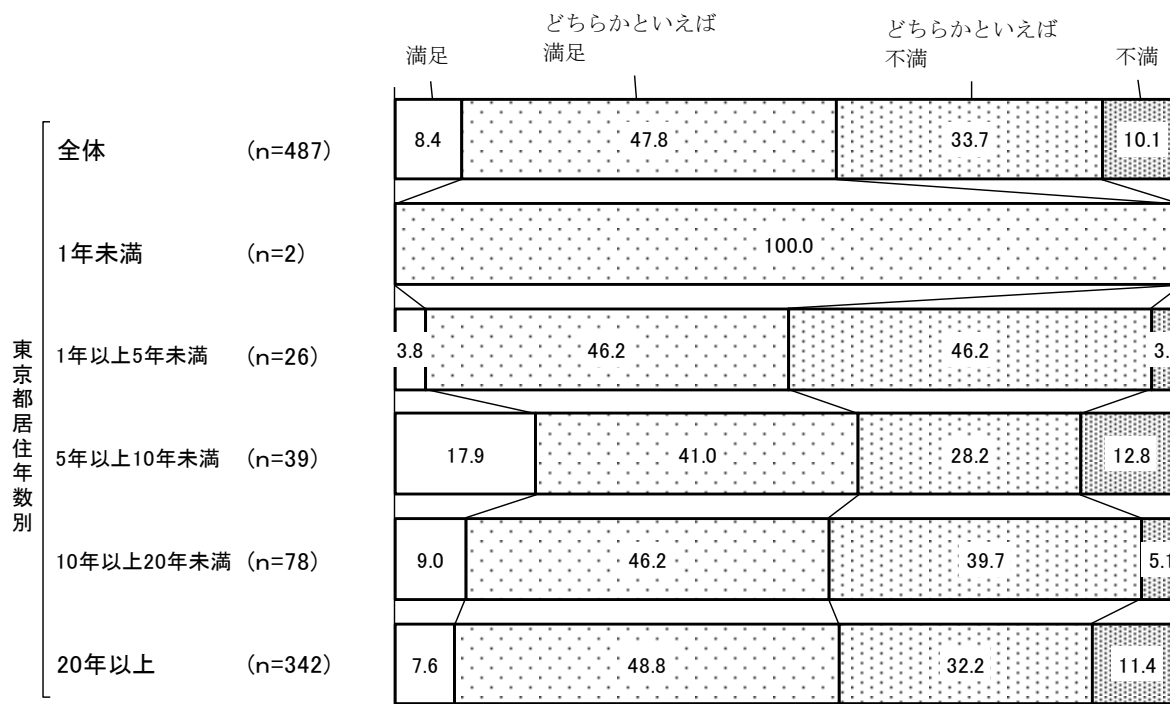
◎最近の都政に『満足』の経年変化 (平成24年度～令和3年度)



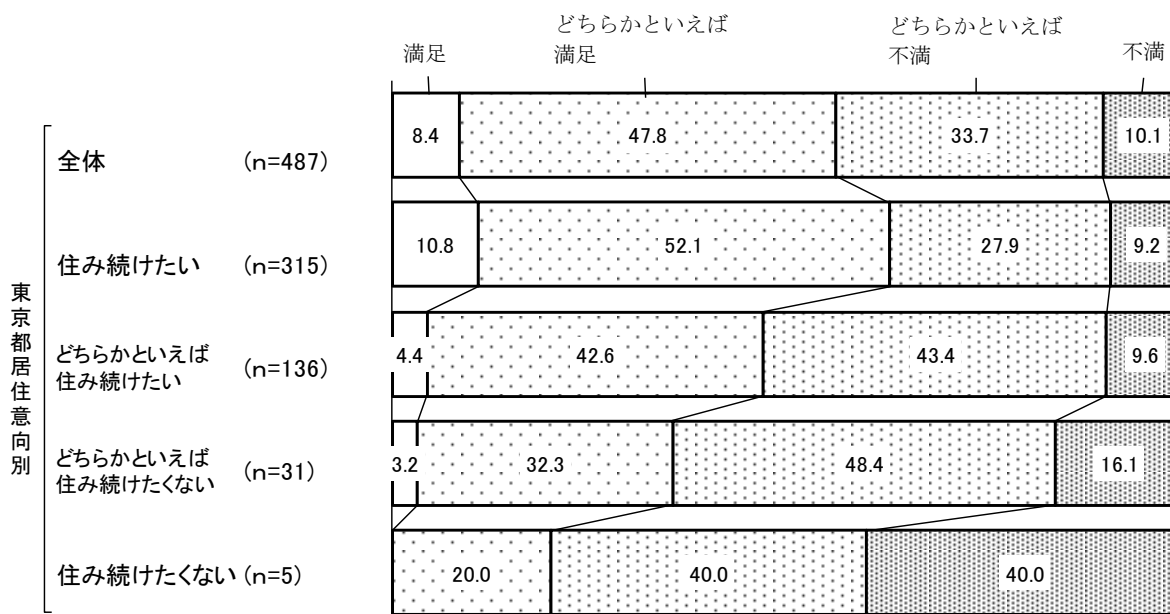
◎都政への満足感（属性別）



◎都政への満足感（東京都居住年数別）



◎都政への満足感（東京都居住意向別）



満足の原因

Q14 Q13で「満足」、「どちらかといえば満足」を選択した方に伺います。
満足している理由を簡潔にお答えください。

(n=271)

(1) 生活のしやすさ（都政に不満はない）	76件
(2) 新型コロナウイルス感染症全般に関すること	57件
(3) 知事の都政運営	52件
(4) 個々の政策に対する評価	50件
(5) 身近で分かりやすい都政	27件
(6) 行政サービスの充実	5件
(7) その他	4件

(主なご意見)

(1) 生活のしやすさ（都政に不満はない） 76件

- 街のコンパクトさ、電車など交通網の充実。 (女性 20代 豊島区)
- 現在の生活に不便や不満を感じていないからです。また、東京都以外の都市に住む友人との情報交換のなかで、東京都がいかに恵まれているかを実感するからです。 (女性 30代 島しょ)
- 暮らしやすい。様々な施設が充実している。 (男性 40代 品川区)
- コロナ禍の中でも、健康に気を付けながら生活を楽しむ環境があり、それなりに充実できた。情報発信が細やかで、助かりました。 (女性 50代 新宿区)
- 都民の暮らし全般にわたり、きめ細かい施策が実施されていて「住みやすさ」を感じています。 (男性 60代 世田谷区)
- 暮らし・健康・福祉・災害対策、共に充実している。 (男性 70歳以上 東大和市)
- 東京はいろいろな面で世界の大都市だと思います。様々な人が様々な異なる生活を送っており、望むものも異なる中で最低限必要なものは満たしていると思えるし、世界で最も魅力的な都市といわれる基準を保っているのは、満足といえるのではないかと。 (女性 70歳以上 多摩市)

(2) 新型コロナウイルス感染症全般に関すること 57 件

- コロナ対策などは、ある程度対応できた。コロナ時も図書館等の一部が利用できる体制はよかったと思います。(女性 20代 墨田区)
- 何不自由なく生活することができ、コロナ関連の飲食の制限なども分かりやすく伝えられており、把握が簡単であるから。(男性 20代 日野市)
- コロナ渦でテレワークがほんの少し浸透したのか、通勤時の乗客の数がわずかだが減っている。コロナはある意味災害ではあるものの、それを乗り越え、新たなライフスタイルが築かれつつあるのを感じることができるので、この変化のきっかけが良い方向に向かっていくよう一都民として見守り、行動していきたい。(女性 50代 江戸川区)
- ワクチン接種・協力金・給付金などの対策は、一定の評価ができる。(男性 50代 府中市)
- 新型コロナに振り回されている1年ですが、家族に感染はなく、ワクチン接種も順調に行えました。取りあえず現在も過不足なく生活できていることに及第点と思っています。(男性 60代 国分寺市)

(3) 知事の都政運営 52 件

- 新型コロナウイルス拡大防止のアクションについて、小池都知事がほぼ毎日のように会見をされていて、都の対応を理解することができたから。(女性 30代 杉並区)
- 特に生活が大きく変わったとは実感がないが、女性の都知事になって、少しずつ変わってきていると思える。(女性 40代 中野区)
- 小池知事の発信力で都政を身近に感じるようになった。(女性 50代 北区)
- 小池都知事が明確に都政の取組について、自分の言葉で分かりやすく語ってくれているから。(男性 50代 北区)
- 国政に対して都政がリードしている点。(男性 60代 練馬区)

(4) 個々の政策に対する評価 50 件

- 芸術・スポーツにも力を入れているため。(女性 30代 大田区)

- 未来の東京戦略にも記載があるように、長期目線で、世界の人から見ても魅力ある都市づくりをしている姿勢と、進むべき方向性について満足しているため。
(男性 30代 大田区)
- 赤ちゃんがいるのですが、都からプレゼントを頂きました。子育て世代にも手厚くしていただけていると感じたからです。
(女性 30代 府中市)
- 災害対策などまだまだ満足ではないところもあるが、受動喫煙対策やテレワーク推進などの独自の施策もあり、成果が出ているところもあるため。
(女性 50代 大田区)
- 水害対策や地震等が起きた時の帰宅難民対策など、指針を出して対策を講じようとしているところや、公園等を整備して都民が暮らしやすくしようとしているから。
(女性 60代 小平市)
- 都政モニターに参加して、都が様々な事業をしていると知りました。福祉関係も他県と比較すると充実していると感じます。また、オリンピックに向けてバリアフリーの整備をかなり進めたと思います。
(女性 70歳以上 調布市)

(5) 身近で分かりやすい都政 27件

- 国の政策と比較して、暮らす人の声が届いていて、政策に反映されていると感じられるから。
(男性 20代 江東区)
- 以前よりも問題への対処スピードが速くなっているから。
(男性 20代 目黒区)
- 都民によく分かる形で、東京都の取組等を発信しているから。
(女性 40代 江戸川区)
- 情報発信が分かりやすい。朝のTBSラジオの都民ニュースを楽しみにしている。
(男性 50代 練馬区)
- 毎月の広報紙は必ず読んでいる。東京都の現状を理解し、身近に感じられる媒体である。だんだん読みやすくなってきている。
(女性 70歳代 北区)

(6) 行政サービスの充実 5件

- 税金の使途として、補助などが多方面に検討されており、実際に様々な支援サービスがあること。
(女性 30代 江戸川区)

不満の理由

Q15 Q13で「不満」、「どちらかといえば不満」を選択した方に伺います。
不満の理由を簡潔にお答えください。

(n=213)

- | | |
|--------------------|-----|
| (1) 個々の政策に対する意見 | 79件 |
| (2) 都政の透明性、都民目線 | 40件 |
| (3) 新型コロナウイルス感染症対策 | 33件 |
| (4) 知事の都政運営 | 31件 |
| (5) 都議、都議会 | 14件 |
| (6) 財政支出のあり方 | 9件 |
| (7) その他 | 7件 |

(主なご意見)

(1) 個々の政策に対する意見 79件

- 自転車が安全に通行できるよう整備された道や駐輪場が少ないから。
(女性 10代 文京区)
- 若年層やこれからの子育て世代への支援を手厚くしてほしい。
(男性 20代 大田区)
- 日本の中心地であるにもかかわらず、インクルージョンやダイバーシティに対する取組が不足している。また、気候変動への取組も積極的にしてほしい。
(女性 20代 荒川区)
- コロナに注力せざるを得ないのはやむを得ないが、脱炭素や水素利用等の先進都市対策、あるいはリモートや地方移住への対応など、アフターコロナを見据えた都市戦略を活発化してほしい。
(男性 40代 世田谷区)
- ここ数週間日本各地で、しかも都下を震源とする地震も起きている。近いうちに大地震に見舞われてしまった場合の財政がとても不安。また、レアケースに終わった東京2020大会は、一体誰が総括するのか。主体として総括することは、今後のパンデミックなどの際の善後策の検討に非常に有効だと思います。
(女性 50代 世田谷区)
- オリンピック開催に反対でした。コロナ対策や都民の生活が優先されるべきです。安心安全の暮らしに全てをかけて取り組んでほしいものです。
(女性 60代 板橋区)

- 住宅建設が無秩序に進められ、狭小住宅が増え続け、美しい環境整備が進まない（国の責任も大きい）。関東大震災級の地震が起きた場合の対策ができているとは思えない。（男性 70 歳以上 大田区）

(2) 都政の透明性、都民目線 40 件

- 都民に対して、都政についての積極的な情報公開や意見の取り入れがされていないと思うから。（男性 10 代 練馬区）
- 実効性が不透明だから。（男性 20 代 荒川区）
- 民意が適切に反映されているか分からない時がある。（男性 20 代 八王子市）
- コロナ対策や景気対策での都の姿勢や取組が見えてこないように感じます。（女性 60 代 世田谷区）
- やっている事が余り見えてこない。都政についての PR 不足。（女性 70 歳以上 江戸川区）
- 市区町村の具体的な行政サービスと比べて、都政の役割が見えない。例えば、コロナワクチンの接種や予約に関しては、基礎自治体の工夫や対応で大きな差異が生じたが、都の調整が不足していた。（男性 70 歳以上 小金井市）

(3) 新型コロナウイルス感染症対策 33 件

- コロナ禍の対策において、このままでよいのか不安になった時期があったから。（女性 10 代 江東区）
- コロナ対策として、営業時間短縮を続けていたこと自体は分かるが、営業時間短縮によってどのくらい感染対策に有効だったのかなど、有効性がいつになっても示されずに短縮のみを訴え続けて、協力金を支払い続けたことに意味があるのかが分からない。（女性 30 代 墨田区）
- 全般的にコロナ対策が後手後手に回っていた。ワクチン確保や接種会場は人口が多い分、積極的に国に働きかけをしてほしかった。（男性 40 代 台東区）
- コロナ禍の生活困窮者に向けて、どのような支援をしているかが分からない。困っているのは飲食店だけではありません。（男性 40 代 町田市）

(4) 知事の都政運営 31 件

- 都知事の都民へのメッセージは、カタカナ語が多く中身が伴っていないものが多いから。 (男性 20代 足立区)
- 小池知事に期待しているのですが、あまり具体的な実績を感じないです。 (女性 50代 新宿区)
- 五輪、コロナ、都議の不祥事など、時々的重要問題に関して、都知事から都民への情報発信が質・量共に不足していると感じる。都民のニーズを踏まえた具体的に明瞭な情報発信の方策を再検討すべきだと思う。 (男性 60代 新宿区)

(5) 都議、都議会 14 件

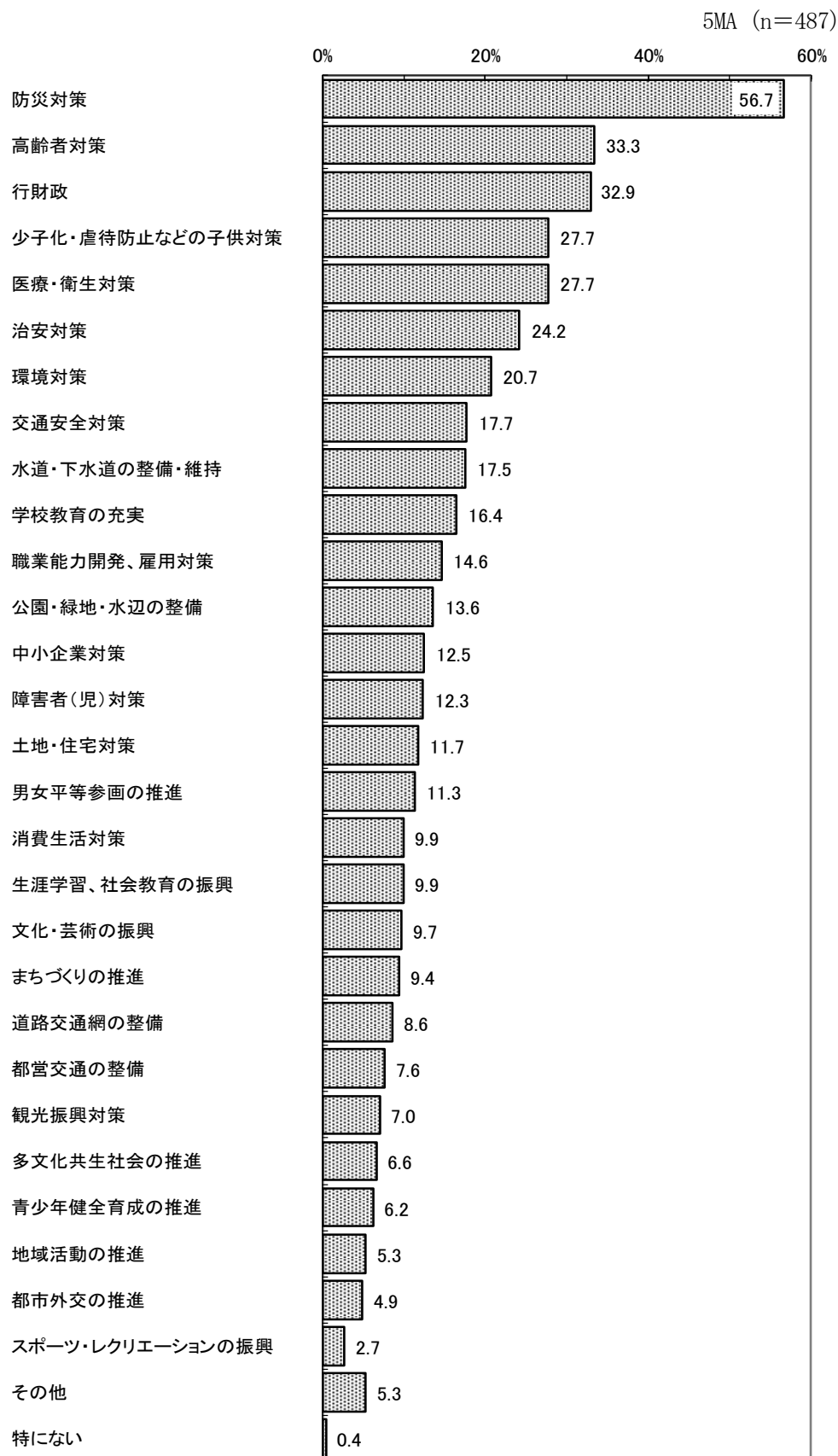
- 問題のある都議会議員への処遇など、改善する点が明らかとなったから。 (男性 30代 墨田区)
- しっかり議論がされていない。一つ一つの議案の審議時間が短い。会期が短い。 (男性 30代 練馬区)

(6) 財政支出のあり方 9 件

- 無観客とはいえ、コロナ禍で東京オリンピックを開催し、その莫大な費用についても未だに不透明なままであるため。 (男性 40代 江東区)
- コロナ対策や東京五輪における費用対効果が納得できるものではない。 (女性 40代 江戸川区)

東京都が取り組むべき分野

Q16 あなたは、今後、東京都が最も力を入れて取り組むべき分野は何だと思いますか。
次の中から5つまで選んでください。



【調査結果の概要】

今後、東京都が最も力を入れて取り組むべき分野は何か聞いたところ、「防災対策」(56.7%)が6割近くで最も高く、以下、「高齢者対策」(33.3%)、「行財政」(32.9%)などと続いている。

◎ (参考) 東京都が取り組むべき分野 過去3か年調査の比較 (上位10項目)

※ 各年度とも5つまでの複数回答

